

議長 副議長 局長 次長 主幹 総務調査係長 議事係長 主査 主任 係

別記様式(第7条関係)

令和7年4月30日

桑名市議会議長

愛敬 重之 様

会派名 無会派

代表者氏名又は議員氏名

伊藤 研司

政務活動費収支報告書

桑名市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

1. 収入

政務活動費 600,000 円

2. 支出

科目	金額	備考
調査研究費	28,200	
研修費		
会議費		
広報・広聴費	571,800	
資料作成費		
資料購入費		
要請・陳情活動費		
人権費		
事務費		
合計	600,000	

3. 残額

0 円

(注)備考欄には、支出の内訳を記載する。

会 計 帳 簿

支払 番号	年 月 日	支払項目	内 容	収 入	支 出	残 額
	2024/4/15		政務活動費 前期分	450,000		450,000
1	2024/4/25	広報・広聴費	広報紙郵送代		134,652	315,348
2	2024/8/14	広報・広聴費	広報紙郵送代		133,980	181,368
3	2024/11/25	広報・広聴費	広報紙郵送代		151,296	30,072
	2025/1/15		政務活動費 後期分	150,000		180,072
4	2025/2/12	広報・広聴費	広報紙郵送代		151,872	28,200
5	2025/3/5	調査研究費	令和6年度タブレット端末通信料(年間分)		28,200	0

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	/
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和6年4月25日		
支 払 年 月 日	令和6年4月25日		
支 払 金 額	134,652 円		
支 払 先	日本郵便株式会社		
使 途 内 容	広報紙郵送代 134,652 円		
備 考			

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☒ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 書

第 425470-10 号

おなまえ	桑名市議会 無会派 議員 伊藤 研司 様		<領収内訳>	<備考>
受領金額	円	134,652	現金	134,652 円
10%	(内消費税等)	13,465 円	小切手	円
8%	(内消費税等)	10,772 円	切手	円
非課税		円	証紙	円
※ 金額欄を訂正しているものは無効です			キャッシュレス決済	円
			決済ブランド名:	

お取引の内容	
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 (円) × (枚・個・通・件) (円) × (枚・個・通・件) (円) × (枚・個・通・件) (円) × (枚・個・通・件)
貯金	
保険	保険料の払込み 保険証券(書)の記号番号 払込期間及び払込月数 年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 (申込書番号) 8% (食品)* 10% (食品以外)

上記の金額を、確かに領収いたしました。

*印は軽減税率対象商品です

取扱郵便局 桑名播磨 郵便局

電話番号 0594-22-4237

取扱者氏名

2024 年 4 月 25 日

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

登録番号: T1010001112577

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 425470-10 号

領 収 書 等 添付合計金額	134,652 円 (内、政務活動費充当額 134,652 円)
-------------------	----------------------------------



施設一体型小中一貫校について

私・伊藤研司が何故…?!

『施設一体型小中一貫校』にこだわるのか!

⇔桑名市役所+光風中学校+立体駐車場
『施設一体型小中一貫校』の候補地の一つに考えられる。

《伊藤研司議員・発言の主旨》

- A、教育(教師の負担軽減)の観点から(特別活動・仮設実験授業を例にとって)
- B、学校修繕を含めた財政の観点から(デトロイト市・夕張市の例から)
- C、多文化共生社会を実現するための観点から(外国語習得の必要性から)
- D、跡地を地域の方々に有効活用して頂くための観点から

以上から、必要性について私の考えを具体的に述べて行きます。

私自身が、議員でなかったなら『施設一体型小中一貫校』に疑問を抱いていたかも知れません。

しかし、私は市民からの血税を頂いている議員と言う立場で、国内・桑名市の経済情勢…教育環境…等々を日々学んでいます。

日本が日本であり続けるためには、桑名市が全国自治体の先駆的な取り組みの見本になって行く必要からも、『施設一体型小中一貫校』建設の必要性を感じているからです。

教育の観点から

世界が注日本の教育“TOKKATSU” 2023年12月6日(水)クローズアップ現代で放送

いま世界で、学級会や日直など日本式教育『特別活動(TOKKATSU)』に熱い視線が注がれている、との報道があります。

日本では消えかかっている『特別活動⇒特活の授業』が世界では再認識されてきているのです。

特に、エジプトでは大統領が先頭にたって国を挙げて日本の教育を学びに来ています。

日本では国語、社会、理科などの教科に加えて、協調性や課題を解決する力などを育むことを目的に、この『特別活動:TOKKATSU』が国の学習指導要領で定められています。

具体的には、学級活動、委員会活動、そして学校行事です。さらに、日直や掃除など、子どもが独自で学校を運営する日本独自の特活がインドネシアやマレーシア、モンゴルなどで取り入れられています。中でも、国を挙げて導入が進められているのがエジプトです。

特別活動:TOKKATSU

・暗記重視から理解する力を重要視。

- ・特別活動に代表される人格形成に重要な教育⇒人間としての振舞い方、相手を敬う姿勢、礼儀正しさ。
- ・教育は国の発展に重要。日本式教育の哲学は、人間を作る上で非常に強い役割を担っている…との、国際的な指摘もあるようです。

※『特活授業:TOKKATSU』を実践されてきた教師の方から、『特活授業』を行うには、一学級25人～30人規模が必要…と、お聞きました。

番組の放送から↓

実際に『特活活動の授業』を取材した山崎氏↓

何故…？特活の授業が減ってきているのか…？！との問い⇒「……教科書もない中で教師にとって大変な労力・特活…と、言う声もあった…」との回答。

キャスターの桑子氏↓

「……子ども達の輝ける教育と教員の負担を減らす。両立はどうすればいいでしょうか…？」との問いに対し 杉田氏の回答⇒「……教育とは理想となる社会を築ける人間を作っていく事。単なる思い出作りではなく、(特活)に理念があるという事を理解していく事が大切。…」

私・伊藤研司の思い⇒算数・理科・社会・英語…等々には、学力差があります。

しかし、『特活』の授業では、『クラス・学校・地域に対し、貢献しようとするやる気』が必要です。……結果、日本人が低いとされている『自己肯定感』も出てきます。以上は、私が『特活:TOKKATSU』について言及した理由です。



考え・議論する教育には、国立教育研究所の板倉聖宜氏が提唱した『仮設実験授業』があります。

視聴者が考えるテレビ番組では⇒『歴史探偵』『英雄たちの選択』があるのでは…と、思っています。

私は1949年 昭和24年生まれの『団塊の世代』です。

私たちの年代の授業は、先生が黒板に書いた文字を書く授業と暗記の授業でした。

今では、仮設実験授業を例にすれば、『何故…？そうなるのか…？！』を学ぶ授業だと思います。

↑ 仮設実験授業の冊子

一例として(テレビで放映もありました…)

戦国時代の『最大の謎』に秀吉の朝鮮出兵があります。

何故…秀吉は、朝鮮出兵を行ったのでしょうか…？！

議論して下さい。↓

所説…いろいろありますが、(番組からの情報ですが…)石見銀山(いわみぎんざん)を手にいれるため…？！との説もあります。

毛利氏を朝鮮出兵でお金を使わせ、朝鮮で勝てば、朝鮮を支配させる。そして、石見銀山(いわみぎんざん)を秀吉のものにするため…？！に朝鮮出兵を行ったのです。

『歴史のウラに金山・銀山そしてお金あり』家康は、当時世界で最もお金持ちの一人。武田信玄の強さを支えたのは甲斐の金山だった。そして、その後、家康が甲斐の金山を手に入れた。

戦国・江戸時代時代を通して、金山・銀山を手に入れた武將が、力のある武將。
(私・伊藤研司の考えも以上と同じです)

※私が児童・生徒だった時代には、百姓は『コメを食べられずヒエ・アワを食べて、水ばかり飲んでいる「水飲み百姓」だった…』と、教えられてきました。

しかし、水ばかり飲んでいる百姓は、本当に居たのだろうか…？と疑問を持っていて、本のセールスをしていた時代に、『御領分郷村案内町』の事を知りました。

『御領分郷村案内町』(不破直幹 不和正人校訂 昭和59年)↓

年貢に関し

安永村→8割3分 大福村→11割4分5厘 東金井村→8割5厘 桑部村→8割4分
西金井村→8割3分5厘 能部村→9割9分 播磨村→8割5分 北別所村→9割3分5厘

……………等々とあります。

年貢が、8割～10割以上も取られていたら、生きていけません。

○お百姓の生活は、どうなっていたのでしょうか…？ 議論して下さい。

↑以上を議論し答えを出して行くのが、『仮設実験授業』です。

※人間性を養う授業……世界から注目を浴びている『特活:TOKKATSU』の授業では15～30人規模の学級が…。

また、何故…そうなるのか…？！を児童・生徒同士が議論して行く授業⇒自らが考える授業『仮設実験授業』では、最低でも一クラス15・6人以上の学級編成が、望ましいのでは…？！と、思っの発言です。

校舎の改修費を含む財政の観点から

北海道夕張市

炭鉱が廃坑になった後、『炭鉱から観光へ』をキャッチフレーズに「石炭博物館」「遊園地」「スキー場」…等を国・道の支援で造ったが、観光客が集まらず財政破綻。

アメリカ・ミシガン州・デトロイト

自動車産業が盛んだった時代には、200万人の人口だったが産業の衰退で64万人に減少。若者の減少×高齢者の増加⇒『年金＋医療費＋介護費』で市の収入の65%を占める。一時は、公務員の年金がゼロになるが、後に50%に回復。

桑名市・校舎の改修・修繕費(令和元年度～5年迄⇒617件 約15億8千万円)

大成小学校→北館雨漏り修繕 10,454,961円

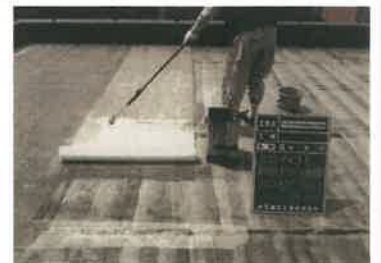
在良小学校→プール漏水修繕 1,430,000円

陵成中学校→ネット修繕 2,167,000円

光風中学校→職員室空調機修繕 1,469,050円



在良小学校



大成小学校

城南小学校→トイレ給水接続修繕 1,540,000円
 明正中学校→プール上屋解体・改修 25,133,760円
 藤が丘小学校→トイレ改修工事 44,437,680円
 星見が丘小学校→バルコニー修繕 6,039,000円



明正中学校



城南小学校

島国の日本が、多文化共生社会を実現するために！

『国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会で共に生きていくこと』と思っています。



私自身の経験(大学を中退して、新宿の風月堂を拠点として活動していた時期もありました)からではありますが、多分化共生社会を目指すには、子ども時代から日常的に外国語の先生や外国人との触れ合いが大切…！との事を肌で感じました。

小規模校では、日常的に外国語の教師や外国人の先生に触れ合う事は困難と思えます。

日本は、資源の無い国です。資源の無い国が生き残っていくには、技術力・外交力…が必要で…これからの若者が、世界の人々と自然体で交流し、人間関係を築いていくには、言葉の文化が大切な要素だと、自分自身の経験から思っています。

学校跡地を地域の方々に有効活用して頂くために！



愛知県東郷町のNPO法人「ノーマCafe」を視察しました。

跡地活用の大切さは、学校であった時よりも地域の方々に喜んで頂ける『活用方法：場づくり』が大切です。



私自身、これまでも『民間活力を含んだ地域力台道の駅。地域の方々を含んだ子ども食堂。介護ステーションを拠点とし、地域の方々が集まれる場所…。NPO+企業+地域の方々…』

NPO法人『ノーマCafe』にて。
 右の男性が理事長の織田英嗣さん
 この写真は、冊子『まちむら』から転載

の関わりについて発言して来ました。
『施設一体型小・中一貫校』を建設して
地域の方々が喜ばれるには『学校の跡地活用』が課題となって来ます。



私は、学校の跡地活用を調べて来ました。冊子『まちむら』から、『ノーマCafe』を知り、視察して来ました。⇨理事長の織田氏は、食道がんを患い、現在も闘病生活を送りながら、講演活動や『ノーマCafe』を立ち上げ、活動の日々を送っている…等々の話を伺いました。

冊子『まちむら』から『ノーマCafe』についての一節を書きます。↓

「……ノーマライゼーションの理念のもと、健常者も障害者も高齢者も何隔てなく、支え合い助け合い自立できる地域をつくりたいと考えるようになる。……。」『ノーマCafe』では「宅配」サービスも行っています。

私は、学校跡地を活用して『ノーマCafe』のように活動出来る『場づくり』が出来たら、と思っています。

《教育長・発言の主旨》 ↓

令和2年度より桑名市では、…〔略〕…『中学校区を一つの単位とした施設分離型での小中一貫教育を展開しています。』

…〔略〕…このまま何も手を打たなければ、40年後の令和45年(2063年)には、桑名市の児童・生徒数は、令和5年5月の10,954人から5,290人と約50%まで減少し、学級数も小学校では、2校しかクラス替えが出来る学級数を確保することができなくなるとの結果でありました。…〔略〕…

このままでは、研司議員ご指摘の通り、子ども達が様々な議論する機会が少なくなり、『特別活動(特活)や仮設実験授業』はおろか、多様性や社会性、協調性を育みながら成長していくという、桑名市が理想とする教育環境の維持が大変困難なものとなっていくという予測でありました。

このような状況の中、『施設一体型小中一貫校』では、多くの子ども達にとって日常的な異学年交流や多様な価値観に触れる事が可能であり、自治的な活動の場を広げ、「お互いの個性を認め合える」という教育の実践的な効果や、様々な生い立ちを持つ子どもたちが共に生き、共に学ぶ力を身につける事にも期待が出来ると考えています。

今進めている《小中一貫教育》をより効果的に展開していくためにも『施設一体型小中一貫校設置』を基本として学校再編を進めて行く事は、桑名市としても適切であると考えています。

また、その学校再編を進めていく過程で、学校の跡地をどのように活用していくかについては大変重要な課題であると研司議員同様に桑名市も認識しています。

…(略)…。地域と民間事業者の思いを基に、地域の活性化などの視点から有効に活用していくことが求められています。

今後、それぞれの地域に入って具体的に学校跡地の活用を協議・検討すべき時には、これまで活用例としてご提案頂いた『子ども食堂・介護ステーション・終末期医療…等々』を含め、桑名市全体のまちづくりの方向性と整合性を図りつつ、市場性、利便性及び地域特性などの多角的な視点から地域にとって有効な活用方法を検討して参ります。

稼ぐ自治体運営にカジを切っている桑名市の将来への展望について

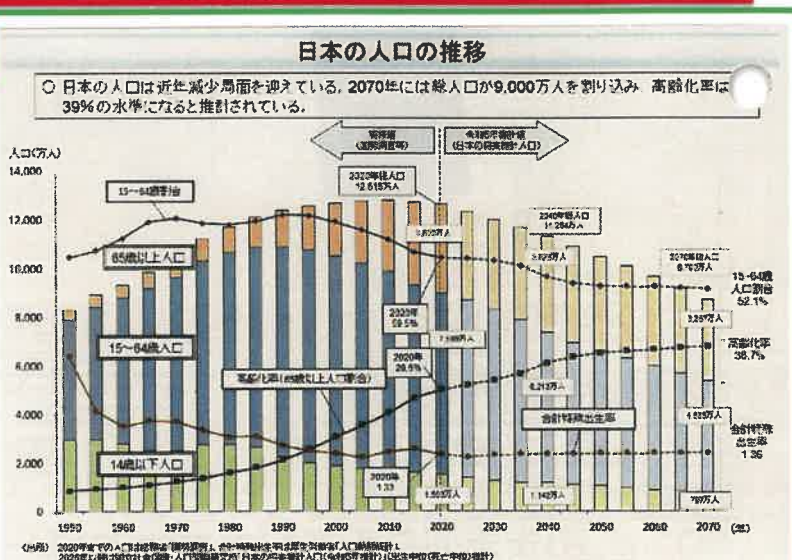
《伊藤研司議員・発言の主旨》



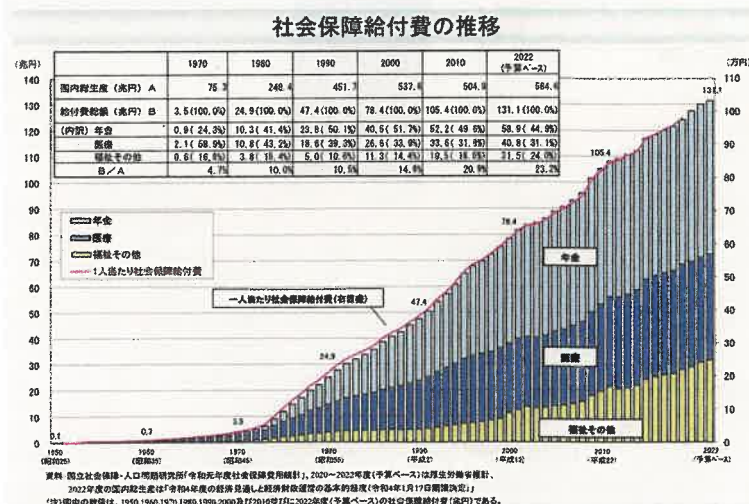
『日本の人口の推移』『社会保障給付費の推移』のグラフを本議会で示す。

3人の市長と市政に関する議論を行って来ましたが、これまでの方は、国からの交付金・補助金に力を入れておられる感じがしました。

なるたか市長から「地理的優位性・桑名市が自ら稼ぐ自治体…」と言われましたが、20数年間桑名市から出た事がない私には、市長が言われた言葉が理解できませんでした。が、学生時代の友人と山陽の広島、そして50年前に新婚旅行に行った山陰の『松江市』に再び行って市長が言われた言葉が、肌で感じ、腹に落ちました。



15歳～64歳の人口は減り続け、65歳以上の高齢化率は増え続けて行きます。2070年には高齢化率は39%になると推計されています。



年金・医療費・福祉費は増え続けています。

※日本の借金は、2024年2月10日財務省発表の日本国の国債と借入金、政府短期証券の合計額:『国の借金』は6月末時点で、1276兆3155億円と発表。

日本の公的債務…いわゆる『国の借金』は、11兆ドルを超えた。国連のデータによると、GDPの261%に当たり、世界一である、とのこと。

※10数年前、借金地獄に陥ったギリシャ⇒国際通貨基金（IMF）やEUは、金融支援と引き換えに、公務員の給与削減、年金ゼロ、人員整理や国有財産の売却を含め財政緊縮策をギリシャに求めたのです。こうして、ギリシャは国家破綻の危機を乗り越え、年金は、50%まで回復したのです。

※日本に戻っての内容ですが…⇒日本の借金額の多さに何とかしなくては…と思った国は、H27年1月：『統一的な基準による地方公会計の整備促進について（大臣通達）』が通達されて、H31年3月に『地方公会計の推進に関する研究会報告書』を出しました。

しかし、全国の基礎自治体が反対したため、『地方公会計』が今のところ、“日の目を見ることはない”と、認識しています…が、心配はしています。

※日本人の外国人への意識調査では↓

外国人と交流なし83%。「半数以上が外国人の増加を望んでいない」との調査結果。

しかし、これからの時代、介護や先端産業の半導体…等々の分野を含め、外国人の労働力無しでは、日本が維持できない事は、自明の論理です。

↑調査を担当した大正大学・地域構想研究所の塚原裕子教授は「外国人の労働力に頼るなら、待遇と同様に外国人にも生活しやすい将来的なキャリアを描ける環境の整備も大切…」とあります。←（2024年2月10日 中日新聞夕刊一面）

「私は、地方自治を維持し守るためにも…、再び…国が『地方公会計の整備促進について』のH27年1月のような大臣通達』を出させないためにも、桑名市が、全国の自治体の先駆的役割を担って、見本になるような自治体運営を行って頂きたい！」との思いをもって、発言しました。

《桑名市長・発言の主旨》 ↓

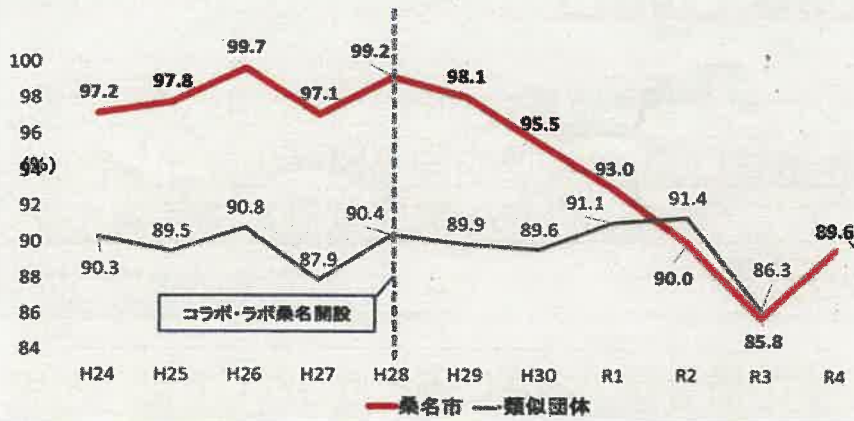


伊藤なるたか市長

以前は…桑名市の様な基礎自治体は…、国全体が豊かさを求めて成長するステージにあっては、国・県からの交付金等を活用し、全国一律のサービス水準を実現する行政運営が求められて来ました。

しかし、日本が人口減少時代に突入し、一部の自治体では消滅も危惧される中、国や県からの交付金に頼った、旧態然とした行政運営では、最低限の行政サービスさえ続けられなくなるのでは…と、私は懸念を抱いております。…〔略〕…。

桑名市 経常収支比率の推移



100に近づく程「財政構造」の硬直化が進んでいます。今の市長になって良くなりました。

私はかねてから、持続あるまちづくりには『確保たる財政基盤の確立』が必要であると申し上げてきました。そのためには、研司議員からのご案内がありましたように、桑名市の特性でもある地理的優位性を最大限に発揮した活力ある「まちづくり」を目指していく事が重要です。

現在、力を入れて進めている企業誘致は、産業誘導ゾーンと東名阪自動車道をダイレクトに結び、企業の立地を加速がさせる取り組みとして大山田パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置とこれに直結する都市計画道路の開通に向けた投資も着実に進めています。

仕事があるところに人が集まり、富が生まれ、市民への還元、サービスが向上していくさまは、古くは宿場町・交通の要所として栄えた桑名市の歴史と多くの共通点が見いだされる事例でもあると受け止めています。…(略)…。

一方で、インフラ整備や外国人との共生をいかに進めるのか…といった課題が出て来る事は承知しています。

製造業が盛んである桑名市においても、既に人口の4パーセント・約5千人の外国の方々が住まわれています。

また、海外企業へのトップセールスなど、積極的な誘致活動にあわせて、国籍や年齢、性別を問わず共生できる環境整備につきましても加速させ、世界から選ばれる「まちづくり」を推進していきます。

『成長なくして分配なし』と言われるように、しっかりと稼ぐ事ができなければ、充実したサービスを市民の方々に還元させて頂くこともできません。

そして、企業誘致におきましても、稼ぐ視点を持って、行政が本気で取り組まなくては千載一遇のチャンスをつかむ事は出来ないと考えています。

今後も私が先頭に立って、桑名市の強みである地理的優位性を最大限生かし、財政基盤の確立を図り、それを成長のエンジンとして、経済の好循環を生み出すことで、活気ある「まちづくり」を強力に推し進めます。

私・伊藤研司は、教育の観点(教師の負担軽減+教育実践)・財政の観点・多文化共生社会を目指して・地域社会の触れ合い…等の観点から『施設一体型小中一貫校』問題に賛成しています。『施設一体型小中一貫校』を成功させるには、地域の方々にも跡地活用を考えて頂き、学校が運営されていた時よりも、地域の方々が利用し、喜ばれる跡地活用が課題となります。

※「議会報告:発言・活動報告」⇒郵便での発送費は『政務活動費』を活用。印刷・製本費等は自己負担です。

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	2
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和6年8月14日		
支 払 年 月 日	令和6年8月14日		
支 払 金 額	133,980 円		
支 払 先	日本郵便株式会社		
使 途 内 容	広報紙郵送代 133,980 円		
備 考			

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号	
支出科目	☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☒ 広報・広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 要請・陳情費

領 収 書

第 425470-11 号

おなまえ	桑名市議会 無会派 議員 伊藤 研司 様	<領収内訳>	<備考>
受領金額	133,980 円	現金	133,980 円
10%	13,398 円 (内消費税等)	小切手	円
8%	10,718 円 (内消費税等)	切手	円
非課税	円	証紙	円
		キャッシュレス決済	円
		(決済ブランド名:)	

※ 金額欄を訂正しているものは無効です

郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 別納 計器予納金 受取人払 着払 その他()	お取引の内容	円内特別基 (@ 84 円) × 1595 (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件) (定形) (@ 円) × (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件)
貯金			
保険	保険料の払込み	保険証券(書)の記号番号	払込期間及び払込月数 年 月期から 年 月期まで 年 月期まで 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで 年 月期まで 年 月期まで
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他()	(申込書番号)	8%(食品)* 10%(食品以外)

上記の金額を、確かに領収いたしました。

*印は軽減税率対象商品です

取扱郵便局

桑名播磨

郵便局

電話番号

0594-22-4237

取扱者氏名

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

登録番号: T1010001112577

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 425470-11 号

領 収 書 等
添付合計金額

133,980 円 (内、政務活動費充当額 133,980 円)



「施設一体型 小中一貫校」

←ドローンで「光風中学校・運動場」
+「立体駐車場」+「矢田公園」+
「桑名市役所」を撮りました。

桑名

月曜

2024年(令和6年)6月15日(土曜日)

14日の市議会一般質問で、伊藤研司議員(無会派)の質問に加藤貞毅教育長が答えた。市内の9中学校では多度中(多度町柚井)が四つの小学校と統合し、小中一貫校として2026年4月に開校する予定。加藤教育長は「光風中を起点とした場所」に急に検討が必要

要な地区」と位置付け、多度地区の次に進める意向を示した。

学校再編の検討が始まった光風中＝桑名市新矢田2で

隣接の市役所敷地使用も

子どもの減少による学校の再編として、桑名市は光風中学校(新矢田2)と隣接する市役所の敷地を合わせて、新しい小中一貫校を整備する検討を始めた。明らかにした。複数の中学校と小学校が統合の対象になるとみられる。市役所は老朽化もあり、移転や建て替えの可能性を含めて検討する。(大島康介)

光風中などで一貫校

周辺小中校と統合 桑名市が検討開始



光風中は桑名駅東側の中心市街地にあり、周辺には明(明正町)や益世小

私・伊藤研司は、議員の仕事は、子・孫の世代を見据え、財政・環境・児童・生徒数・人口の推移等を考えて発言して行く事が必要と考えています。

(益生町)、精義小(寿町3)、修徳小(東方)などがある。新たな小中一貫校を整備する場合の学区や統合の対象となる学校については検討している段階という、加藤教育長は「一方性が定まったら議会や住民に説明する」と述べた。市役所の扱いについて伊藤徳宇市長は取材に「光風中に隣接していることもあり教育委員会から検討を求められた」とし「考えなければいけない時期に来ていたのは間違いないので、建て替えや移転などさまざまな可能性を検討していきたい」と話した。桑名市は小中学校の再編計画を2025年度までに策定する予定で、市内9中学校と27小学校について学区の区割りを検討中。光風中は再編計画に先駆けて検討を始める。23年度は市内の小中学生数の将来推計を行い、40年後には現状から半減して5300人程度になるとの分析をまとめた。

な政策の提案が必要と考え、その第一歩として、全国的にも先進的な事例・旧桑名地域の『施設一体型小中一貫校』の必要性を2年半にわたり訴え続けて来ました。



上→近鉄・JRの線路に架けられた鉄道橋を走る北勢線。下→馬道から見た拡幅された道路

※私は以前に『施設一体型小中一貫校』問題を語る事⇒『駅西區画整理事業』『北勢線の今後』を含んだ課題とし、それらを三位一体と考える事が必要との発言をして来ました。

しかし、調査を進める過程で『人口＋お金』の問題だけではなく『区画整理事業＋道路＋幹線道路＋北勢線自体の問題＋国…等々』を含め、さらに、地域コミュニティ局との連携も大変重要！と思えてきました。

旧桑名市内において、 『施設一体型小中一貫校』開設について

＊2023年12月6日「クローズアップ現代」で放送された『特別活動:特活授業』⇒『協調性＋日常生活』の問題点を解決する力を養う。世界的に認識されて来ている事の重要性の観点から。

＊教育の観点からでは、児童・生徒間で議論する『仮設実験授業』⇒(国立教育研究所の板倉聖宜氏が提唱⇔議論する授業)の必要性から。

視聴者が考えるテレビ番組ではNHKの『歴史探偵』『英雄たちの選択』がある。

＊教師の負担軽減から⇒例えば…昭和の時代のプール授業では、プールに入っ
て潜たり・したい事をして居れば良かったのですが、現在のプール授業は『着衣水
泳:いざと言う時、呼吸を確保し救出
されるまで浮き続けて自分を守る』
着衣水泳の授業もある。

＊校舎の改修費を含む財政の観点から。
益世小学校の例⇒教室のコンクリー
トの梁の部分約1メートル＋30センチ
が落ちる。

幸いにも体育？音楽？の授業で教
室には児童がいなかったのが、児童
は事故に巻き込まれていない。

(校舎は50年以上の建物もある。プールの維持・改修費も大変)



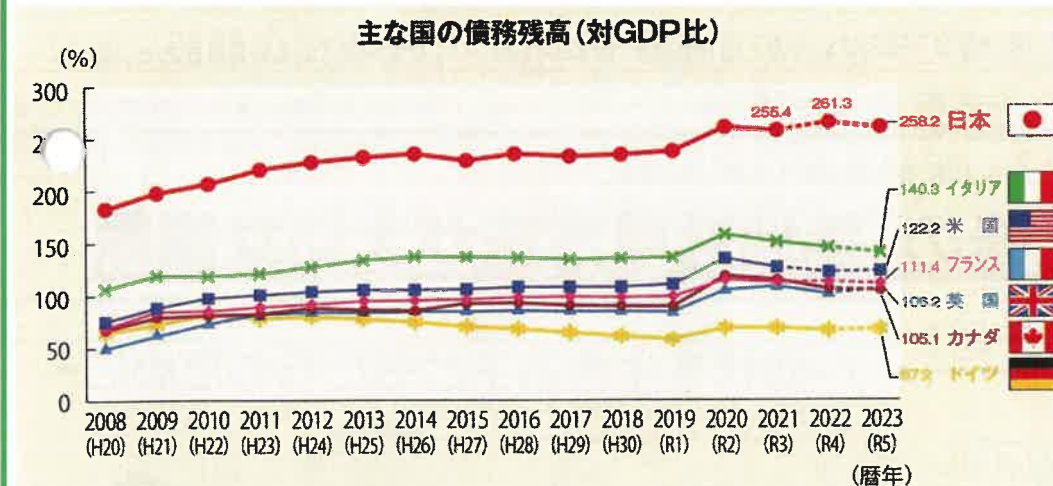
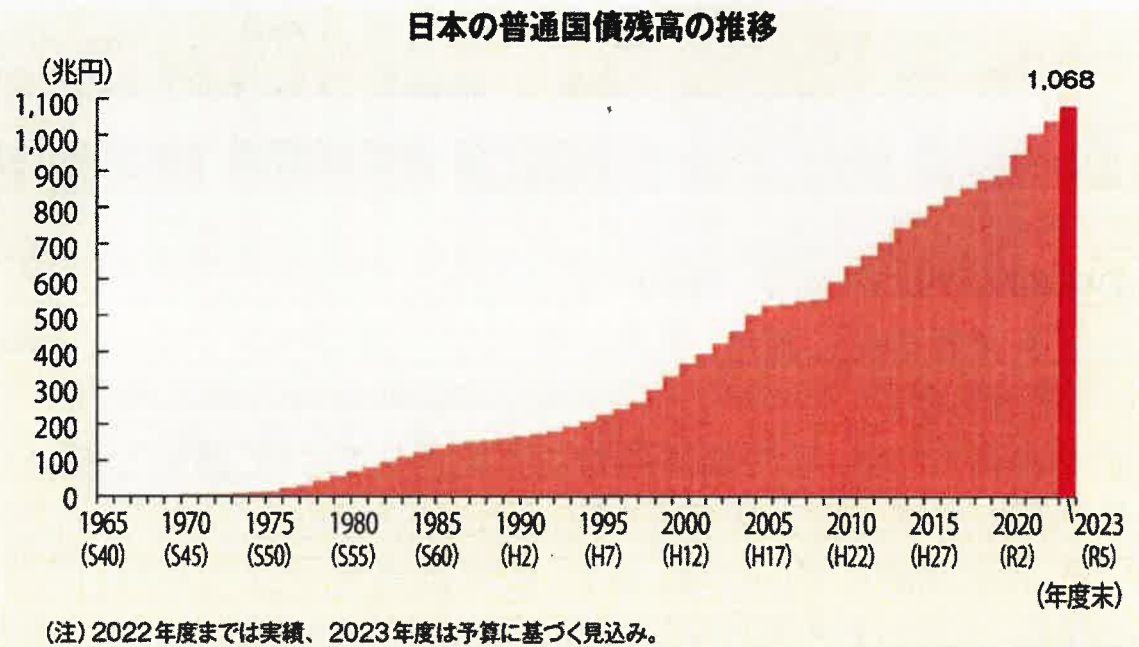
落ちた梁の部分を修理している写真を、数年前の本議会で示す私・伊藤研司

* 島国の日本が『多文化共生社会』を実現するために…これからの日本人は外国語を話せる事が必須の条件。児童・生徒の時代から、国籍の異なる方々や外国(語)人の教師と日常的に話せる事が必要なのでは…と考える。

* 児童・生徒数が少ないとクラス替えが出来ない。幼稚園の支配関係が9年間も続く場合もあり得る。(実際に現場からお聞きした内容です。)クラス替えが可能なためには、一学年2~3学級が必要となる。

* 国の借金は、1,297兆1,615億円と8年連続で過去最大を更新している。

昨年と比べ、1年間の増加額は26兆6,625億円となり、財政状況は一段と厳しくなっている。⇨地方公会計(単式簿記から複式簿記になる+行政財産(学校用地・公園用地・道路用地…等)私の思い→



地方交付税交付金を受け取っていない財政的に裕福な自治体なら良いが、地方交付税交付金を必要としている自治体が、行政財産を自治体の財産に入れられ地方交付税交付金を受け取れなくなると大変な事態になってしまいます。

数年前に国が出そうとしたのですが、地方の自治体が反対したため、表に出る事が無かった公会計の問題…そして、地域の方々が利用しやすいためには『跡地活用』問題を課題とし、『施設一体型小中一貫校』の必要性を2年半にわたり本議会の場で、訴え続けてきました。

昨年の12月本議会で、現在の市役所を含む一帯が『施設一体型小中一貫校』の候補地の一つに考えられる…』との答弁がありました。

『施設一体型小中一貫校』開設への具体的予定をお答え下さい。

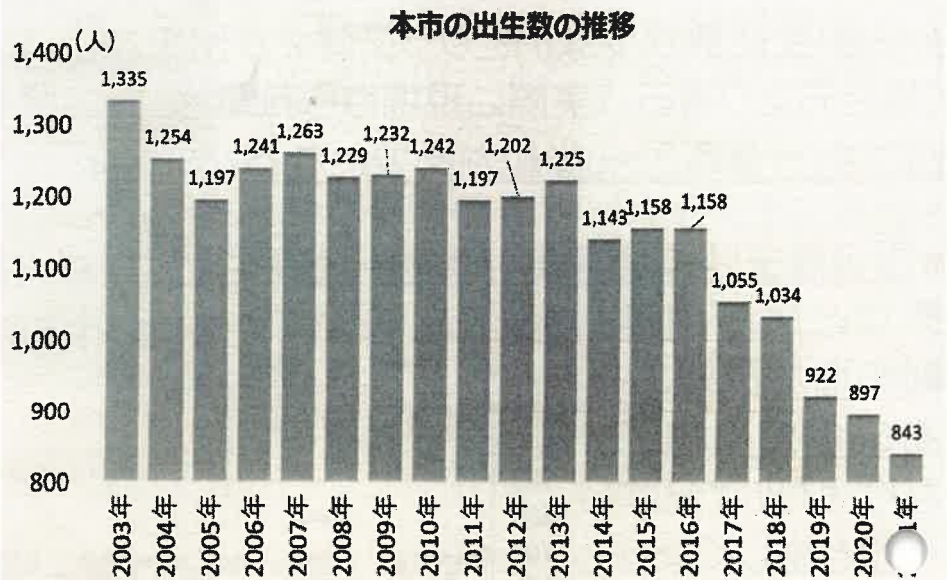


《教育長:答弁の主旨》

研司議員からは、先の12月議会において、小中学校再編における『施設一体型小中一貫校』についての桑名市の考え方を質問して頂き、市長からは「市役所を含む光風中学校を起点とした場所を『施設一体型小中一貫校』の候補地として、また、周辺

地区を多度地区に続き、早急に検討が必要な地区である、と考えているとご答弁いたしました。

研司議員からは、その具体的な取り組みについて質問を頂いたと認識しています。桑名市からは、現在、隣接地である市役所庁舎の取り扱いについて検討を進めている、とお聞きしています。また、教育委員会では令和7年度の小中学校再編計画の策定に向け、学校区割りの編成や地域との合意形成の手法などを中心に検討を進めているところです。それぞれの方向性が定まりましたら、議会及び地域住民の皆様丁寧に説明し、合意形成に努め、次の施設一体型小中一貫校の開設に向け、進めて参りたい、と考えています。



学校が移転した後の、跡地活用方法が大切な課題

《伊藤研司議員・発言の主旨》

私の基本的な考え方↓

A. 国道・県道を含む大通りに面している学校では、民間企業が核となって『民間企業＋地域住民の居場所・活動の場づくり』

私・伊藤研司の想い→一例として、深谷小学校⇒道の駅＋地域野菜を各学校への配送拠点＋高齢者への食事の宅配サービス＋地域住民の方々が集える場づくり。

～次代を生きる子どもたちのために～



B. 住宅地に囲まれた地域の学校では、NPO法人が核となって、『介護施設・障害者支援事業所を含むNPO法人＋地域住民の居場所づくり』

(私自身の想い:益世・大成・精義・城南・桑部小学校…跡地⇒24時間看取り・介護施設・障害者支援事業所・スポーツクラブ＋地域住民の居場所)

私自身の経験からですが…「看取り」は、最高の命の教育だと思っています。
私・伊藤研司の想い→一例として、立教小学校の跡地活用は、古くて狭い博物館の移設をして、市内で発掘された遺跡の展示＋地域の方々の居場所づくり



土馬↓多度中小学校造成時出土



埴輪↓高塚山古墳で出土

《教育長・答弁の主旨》



研司議員からは、学校再編を進めるにあたって生じる学校跡地の利活用の課題について、多面的な視点での活用例を以前から紹介頂いている上で、桑名市としての考えを今回も質問頂きました。

『施設一体型小中一貫校』を進める中で、跡地活用は大変重要な課題と桑名市も認識しています。

様々な地域施設がある中で、学校跡地は特に規模の大きな敷地を有していることから、桑名市としては様々な活用の可能性を検討できると考えています。
また、一方で学校はこれまで地域コミュニティの場として様々な役割を担ってきたことから、地域の皆様の合意形成に努めながら、地域の活性化につながる魅力的な活用方法を検討・模索していくことが必要と考えております。今後、それぞれの地域に入って、具体的に学校跡地の活用方法を協議して行く時には各学校の規模や立地、インフラを含めた利便性及び市場性、地域特性や用途地域等、多方面な視点から活用方法を検討し、地域の方々と合意形成に努めながら本事業を進めて参ります。

伊藤研司の独り言 ↓

伊藤研司が国会でも早く議論して頂きたい事:『年金＋介護費問題』↓

女性がフルタイムで働く時代が来るから、年金額の減はないのでは…?!との事をよく聞きますが…

私・伊藤研司は、対GDP比の借金額の多さ…人口減少(特に生産労働人口の減)時代を迎えている日本の年金＋介護制度は、『税金＋積み立て』方式を採用すべき!と考えています。↓

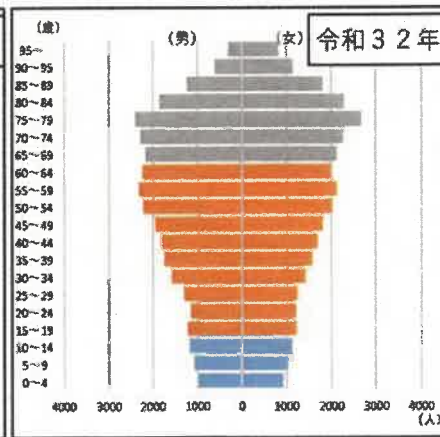
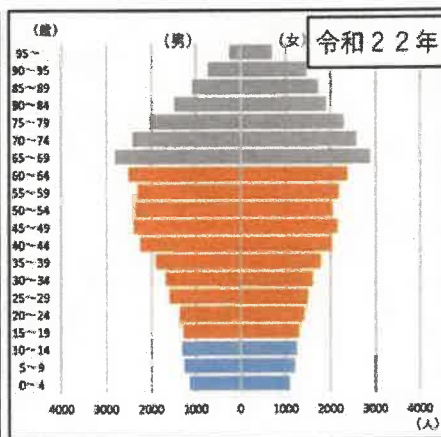
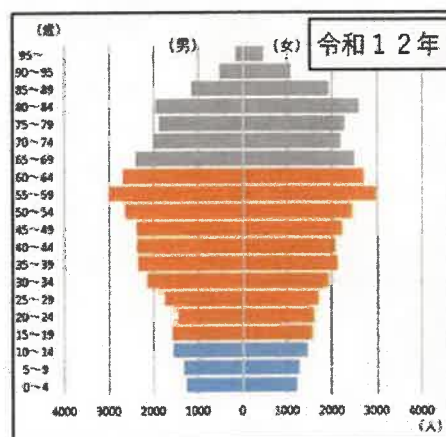
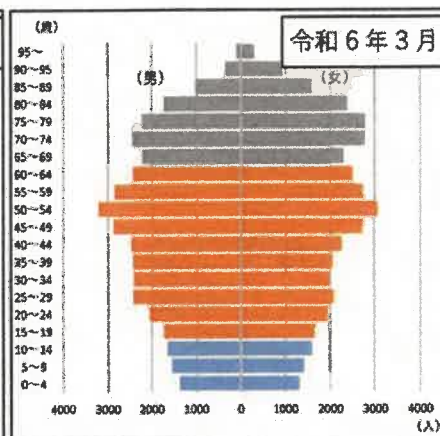
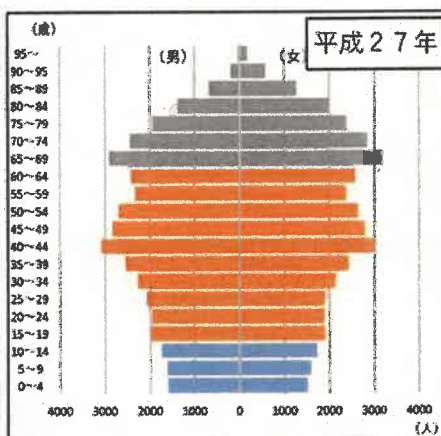
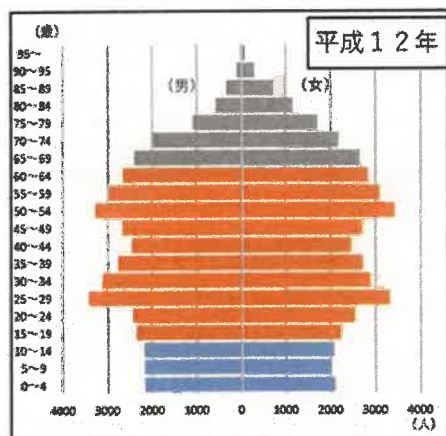
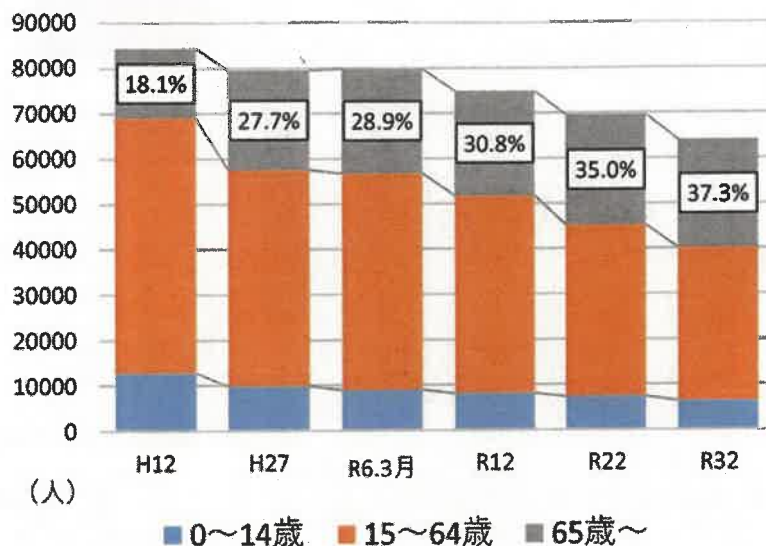
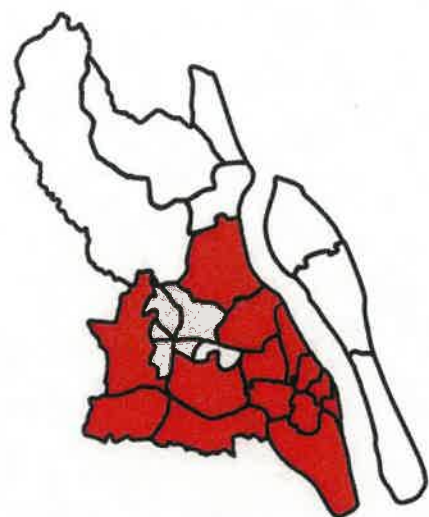
日本の年金制度⇔賦課方式では、子どもが一世帯複数人いた一昔前では、通用したが、若者一人一人の高齢者を支える時代では、維持できない…?! 少子高齢化時代に親の介護費を子どもだけに頼る事はできない…! 私には『年金＋介護費』をセットにして考えるべき…!と思っています。

賦課方式⇒長期的は保険料の減収でこれからの時代にはムリ。

積み立て方式だけ⇒低成長時代やインフレによる年金の実質的な低下の時代にはムリがある!

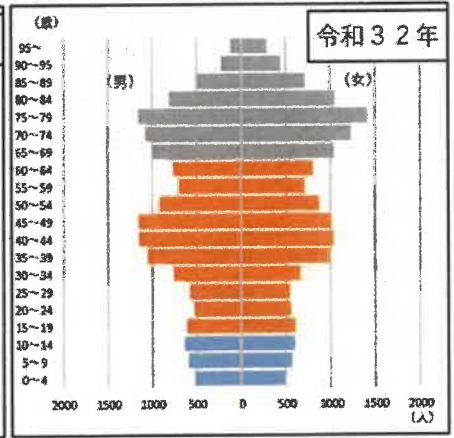
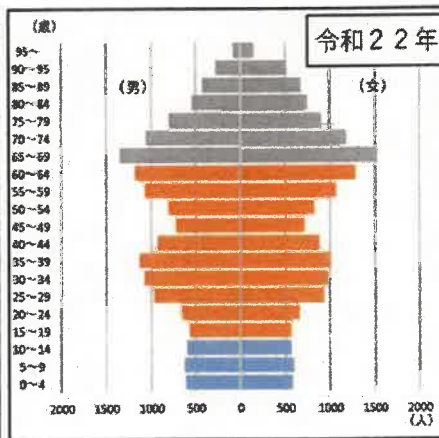
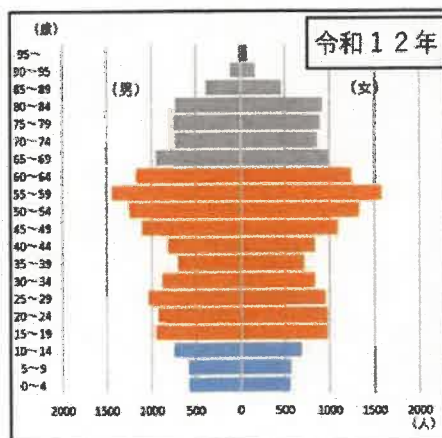
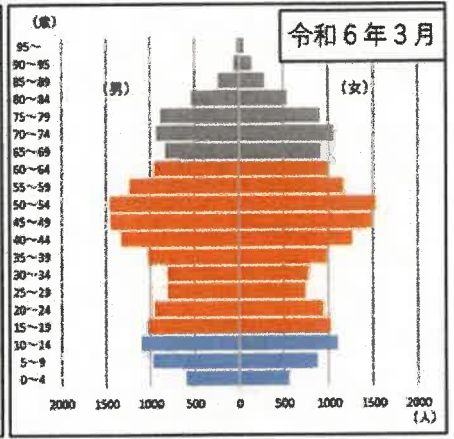
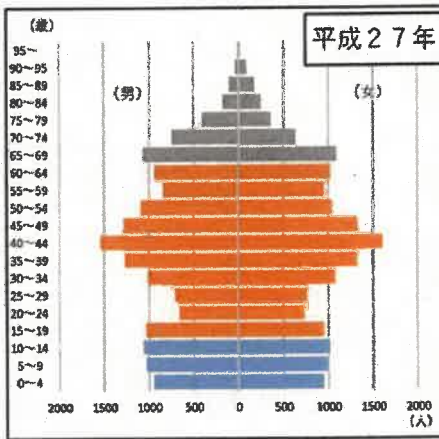
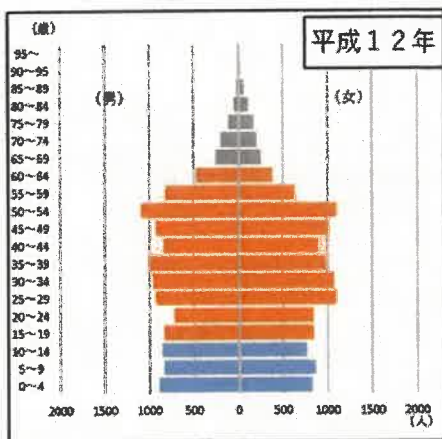
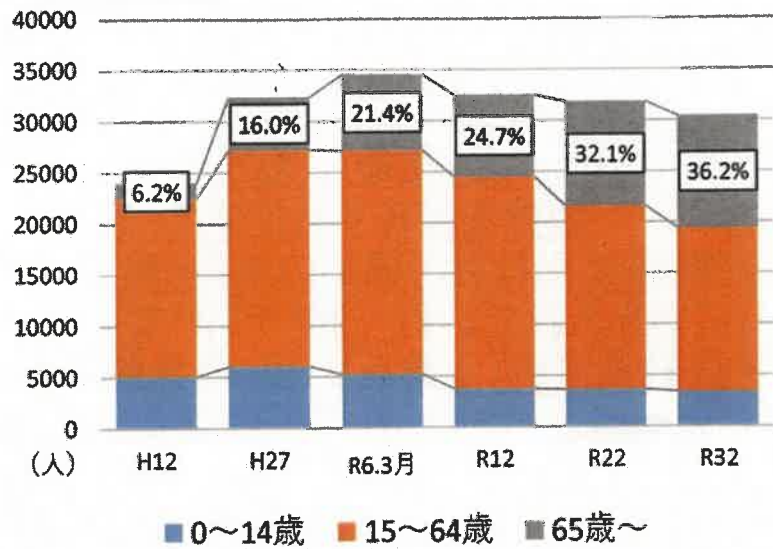
大山田団地以外の人口推移

大山田団地（新西方、星見ヶ丘、筒尾、松ノ木、大山田、野田、藤が丘、陽だまりの丘）、多度町、長島町除く



出典：平成12年、平成27年、国勢調査による人口 令和6年3月は住民基本台帳人口、令和12年、令和22年、令和32年については、令和2年国勢調査の性・年齢階級別人口をもとに、国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口（令和5年推計）において用いられた生残率、純移動率、女性子ども比、0歳~4歳性比を用いて見込みを推計しました。

新西方、星見ヶ丘、筒尾、松ノ木、大山田、野田、藤が丘、陽だまりの丘における人口推移



出典：平成12年、平成27年、国勢調査による人口 令和6年3月は住民基本台帳人口、令和12年、令和22年、令和32年については、令和2年国勢調査の性・年齢階級別人口をもとに、国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口（令和5年推計）において用いられた生残率、純移動率、女性子ども比、0歳～4歳性比を用いて見込みを推計しました。

「チーム桑名」の立ち上げを！

『半導体企業を含む先端産業』と『歴史+技術力がある桑名の鋳物産業』

《伊藤研司議員・発言の主旨》

東海地方には、脱炭素社会を目指し⇒『水素の活用+（脱酸素・雇用の確保）』
『アンモニア+微粉状にした石炭』の活用を押し進めている世界的企業⇒
『トヨタ・中電・JERA』そして最近、私が知った東海メディカルプロダクツがあります。

世界を代表する企業のトヨタ↓

A、環境対策・脱炭素社会の構築の為に『水素エンジンの普及+内燃機関の雇用を確保』に力を入れているトヨタがあります。↓

水素による燃料電池車（水素を活用した発電型燃料電池車の普及は進む。その後、水素だけで走る自動車も普及していく！と考えられる）⇒水素と酸素を化学反応させ、電気によってモーターを動かし、走る車。水素の補給が必要（約3分ぐらいで可能）走行時には、水だけが排出。二酸化炭素（CO₂）を含む有害物は排出されない。○
災害時でも外部給電機能で非常用電源として活用できる。（2024年3月13日TV放送ニュース）

《水素車進化 トヨタ真価》《航続距離1.5倍 耐久性も向上》 2024年5月25日新聞記事

《脱炭素と供給網維持を両立 各国に合う選択肢提供》 2024年5月29日新聞記事から

トヨタが打ち出したのが、プラグインハイブリット車（PHV）やハイブリット車（HV）といった電動車と相性の良い新エンジンだ。……。電池の航続距離の不安を解消できる「実用的なEV車」。エンジンである以上、ガソリンを燃やせばCO₂が出るが、水素とCO₂でつくる合成燃料などで代替すればカーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）を実現できる。○

※世界のエネルギー問題↓

電気自動車（大型トラック）⇒積載量20トンのトラックでは、5トンの蓄電池が必要となる⇒実際には15トンしか積載はできない…との報道もあります。

B、脱炭素社会を目指している企業⇒中電とJERA（中電と東電が半分ずつの株式）があります。

『アンモニアは燃焼時にCO₂・二酸化炭素が出ない+石炭を微粉状に燃焼』⇒する事によって、限りなく二酸化炭素・CO₂がでない発電を…！更に、最終的には水素・アンモニアのみでの発電を目指している。

石炭で低炭素化を…！ 石炭で国際貢献を…！アンモニアを含んだ石炭火力に価値がある⇒アジアから期待されている。←2024年4月27日 BSTV放送

《JERAの資料から⇒アンモニア混焼技術の確立に向けて》↓

「アンモニア」を燃料の一部に利用する『混焼技術』の確立を目的とした実証実験を

行っていきます。大型の商用石炭火力としては世界初となる『アンモニアの大規模混焼(20%)』に向けて取り組んでいきます。

2024年5月20日(月) 中日新聞 19面 科学のページには↓

《震源地は「水素ガス工場」》との見出しで

南海トラフ地震を起こす地下の震源域付近で、大量の水素ガスが生じていることが、北海道大学、岡山大学などの研究グループの研究でわかりました。…。南海トラフの周辺の海底には、メタンが水分子と結びついて氷状になったメタンハイドレートが多く埋蔵されていることが分かっています。

その量は、静岡、愛知、三重沖だけで1兆1千億立法メートル(日本の天然ガスの年間消費量の約10倍)と見積もられています。……。グループの鈴木徳行(北海道大学名誉教授)教授は、「有機物の分解のほかに、岩石と水の反応などでも水素ガスが生じていると考えられる。日本は地下の水素大国といえるのではないか」と話します。以上の記事が掲載されていました。

2024年6月8日テレビ愛知で放送され最近私が知った:映画化(ディア・ファミリー:実話をもとにした医療系映画)

世界中で17万人の命を救った「東海メディカルプロダクツ」もあります。

生まれた時から心臓病の佳実(よしみ)さんがいたから…「20歳までしか生きられない」と言われた佳実さんの命を救いたい…一人でも多くの人を救いたい…との思いで、町工場から生まれた命のカテーテルを製造。父の娘への家族愛から不可能への挑戦の物語。

佳実がいなかったらこんな事(借金まみれの町工場のオヤジが天文学的なお金と10年以上もの歳月をかけてIABPカテーテルの製造。会社の利益を融通しても)をしなかった…。

『IABPっていう簡易的に心臓を補助する器具の開発に切り替えたよ〜…』『お父さんとお母さんは私の病気のためにすごく医学の勉強をして…人工心臓製造にも挑戦してくれてものすごい努力をしてくれたじゃない〜!佳実はそれだけでうれしい…!お父さんとお母さんは佳実の誇りだよ〜!』と言ってくれた。

IABPバルーンカテーテルの完成から2年後の1991年 佳実(よしみ)さんは永眠。医療産業に新たに参入する企業を応援するために2018年に筒井宣政(つついのぶまさ)基金を立ち上げる。 詳細は、筒井宣政(つついのぶまさ)で検索して下さい。

桑名市に目を向ければ↓

以前にも本議会で発言しましたが…鋳物産業と言えば、マンホールを思い浮かべる方々も多いのですが…、桑名市の鋳物産業においても、医療機器の再先端を担う…国産初の医療用の手術ロボット(hinotori:ひのとり)の製造、さらに、JR高山線の脱炭素化に向けてエンジン部分の製造の一翼を城田鋳工様が担っている現実があります。

城田鋳工は医療機器では、先端医療の手術用ロボット『hinotori』の鋳物部品の製造やJR東海の最新型ハイブリッド車両「HC85系」の発電機ケースも手掛けておられます。

最先端の半導体と伝統+技術力がある鋳物産業のコラボ:協働が出来れば、最強の産業となるのでは、と思っているの発言です。



《桑名市長・答弁の主旨》



JR東海・最新型ハイブリッド車両
「HC85系」



JR東海・最新型ハイブリッド車両
「HC85系」エンジンカバー

鋳物産業は江戸時代から続く桑名を代表する地場産業です。研司議員ご承知の通り、先端技術である鉄道や医療機器に使われている工業製品などの非常に高い鋳造技術による製品を現在も作り続けている企業があります。

しかしながら議員ご指摘のとおり、その製品を目にする機

会は少なく、地場産業としてのPR、次世代への継承も課題の一つになってきています。

その様な状況から、市内の鋳物事業者においても、積極的に様々な取り組みを進めています。本年 1 月に開催された鋳物技術競技会の展示会場であるイオンモール桑名では、三重県鋳物工業協同組合主催の鋳物体験が実施され、2日間で合計140名の子ども達で賑わっていました。……（略）……。

桑名市と愛知大学様との協定を活用し、若い世代に鋳物へ関心をもってもらうため、またブランド力向上のためのPR動画の作成に取り組んでいます。

個別の鋳物事業者においても、例えば…城田鋳工株式会社では、30年後までを見据えて高い技術を取り入れることで、企業ブランディングに取り組んでおり、また、本年4月には私も対談しました大洋産業株式会社において、子ども達に影響力がある小学館のコロコロコミックさんとコラボして頂き、ふるさと納税の返礼品として鋳造体験ができるコンテンツを提供して頂いています。

このように鋳物事業者が活発に動き出している中、市と致しましても、鋳物組合や各事業者が持続可能な自走ができるよう、他業種や親和性の高い企業・大学・スタートアップ企業などと協働の仕組みを考え、相乗効果を発生させるような支援策を講じていきたいと考えています。

そのため、鋳物組合や事業者と密接に連携し意見交換を行い、現状分析と情報共有を図りながら、「鋳物のまち桑名」のブランドを再活性化させるために多角的なアプローチを進めてまいります。

市民の方々に安全な水を届けるために

AIを活用した『漏水調査』を実施する考えは

《伊藤研司議員・発言の主旨》

2024年5月24日のNHKニュースで、水道管の漏水問題を少しでも改善するために、AIを使って漏水調査を行っている自治体があるとの放送をしていました。

私自身が聞き取った内容↓

A:漏水は水道管が古い箇所では起こりやすいが、水道管が古いだけで漏水が起こるとは限らない。古い水道管が多いと漏水が起こりやすい事も事実。

B:漏水を夜間…人の耳だけで聞き取る作業は、疲れや効率を考えると問題。

C:前橋市では、効率的に作業を進めるためには、AIを使って漏水箇所の調査を行っている。……。以上の事でした。

桑名市に戻って『漏水量』を調べると、約20%の漏水量があるのです。

桑名市の一日の給水量は、約5万5千トンです。漏水が20%という事は、約1万1千トンの漏水量があるということです。小学校のプール約4杯分の漏水があるのです。

《上下水道部長・答弁の主旨》 ↓

令和4年度における桑名市の有収率は、81.8%であり、有収率の低下の主な原因は、管路の老朽化が考えられます。

桑名市の水道管は総延長約1,035キロメートルあり、法定耐用年数の布設後40年を超えた水道管は約320キロメートルあります。

漏水調査は、その老朽化している箇所を重点的に、委託業務による調査をしており、漏水音を道路上で探し出す調査など人の手を使っています。

漏水音を聴く作業であることから、昼間騒音が多い地域につきましては、夜間作業で行う必要があり、調査スピードや効率化の面では劣るものの、調査技量を有している者が実施しており、確実に漏水を発見する事が可能です。

しかし、近年の有収率低下傾向から、調査スピードが漏水発生頻度に追いついていないと考えられ、調査スピードの向上及び効率化が課題となっています。

研司議員ご案内の衛星を活用したAIによる漏水調査方法につきましては、現在行っています漏水調査手法と組み合わせることで調査スピードの向上及び効率化に有効と考えられます。

パレスチナ自治区ガザ地区における早期の平和回復に向け 意見書の提出を求める請願

《伊藤研司:発言の要旨》

「東洋のシンドラー」と呼ばれた、リトアニアの日本領事館の杉原千畝(すぎはら ちうね)氏は、ナチス・ヒトラーによる迫害された6千人ものユダヤ人にビザを発給。

日本人初の国連難民高等弁務官だった緒方貞子(おがた さだこ)氏は、「命を救う事」をテーマとして、1991年～2000年までの10年間⇒世界の難民保護と救済を行って来られた方。

ICC・国際刑事裁判所(逮捕状を出せる。アメリカは不参加)で日本人初の所長を務められている赤根智子氏。赤根智子(あかね ともこ)氏は、イスラエルとハマスの高官へ逮捕状を請求。また、ロシアのプーチン大統領にも、多くのウクライナの子ども達を連れ去った戦争犯罪の疑いで逮捕状を出した。

ロシアから報復措置として、指名手配されたが、赤根智子氏は屈していない方です。

岸田総理は、ウクライナに行かれました。何故、イスラエル・ゴザに行かれないのか！疑問です。81億1900万人の世界の人口。その内の約71%の57億5000万人が独裁国家に住んでいて、民主主義国家に住んでいるのは約29%に過ぎません。

日本には、徴兵制度もなく、多くの人々は明日の生活にもあまり困らない1億2,200万の人々が住んでいます。日本人に生まれ・存在している事に感謝して、発言に入ります。

2000年12月4日の国連総会で、毎年6月20日を『世界難民の日』とすることが決議されました。現在、世界の難民数は約1億2千万人以上を超えています。その内、約4割は子ども達です。ガザ地区の難民は約170万人と言われています。その内、約70万人以上が、飲み水…今日の食べ物にもありつけなく…そして、戦争を起こした事の無い子ども達です。……。ガザ地区では、戦争が始まって以来、2024年6月20日現在で、3万7千431人の死亡が確認されています。……。

2024年6月24日の中日新聞夕刊には、『ガザ激戦「間もなく終了」 イスラエル首相が明言』と一面トップ記事がありました。一瞬…「私は、これで終わる…？」と、一瞬ホッとしました。記事を読んで行くと『…ネタニヤフ首相は「ハマスとの戦闘が終わるわけではない。…統治能力の崩壊が目標だ…」』とありました。さらに、23日にもガザへの攻撃を続け、国連施設に空爆があり、市民8人が死亡したとの記事がありました。結局は、対ヒズボラと本格的な戦闘に兵力を振り向けるために、ガザへの攻撃を縮小しただけ…との事です。……。……。戦争をしたがる人は、自らの権力・地位を守るために起こす人が多いのでは…と思っています。



この写真は、ユーゴスラビア紛争で闘いにく兵士の祈りです。今回の請願とは直接的には関係はないのですが、この写真を見るたびに『命の尊さ』を感じています。

《本議会で採決》⇒全議員賛成でした。国に対して、『……ハマスとイスラエルの双方が即時に武力行使を中止し、ガザ地区に早期に平和が回復されるよう、国際社会に向けて積極的な役割を果たす事を強く求めます』との意見書を国に提出する事に決まりました。

※郵便での郵送費は、政務活動費を充当させていただき、印刷費・製本費・資料費…等は自費です。

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	3
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和6年11月25日		
支 払 年 月 日	令和6年11月25日		
支 払 金 額	151,296 円		
支 払 先	日本郵便株式会社		
使 途 内 容	広報紙郵送代 151,296 円		
備 考			

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号	
支出科目	☐調査研究費 ☐研修費 ☐会議費 ☒広報・広聴費 ☐資料作成費 ☐資料購入費 ☐人件費 ☐事務費 ☐要請・陳情費
領収書 桑名市議会議員 伊藤 研司 様 [別納引受] 区内特別基 (定) 37.5g @96 1,576通 ¥151,296 小 計 ¥151,296 郵便物引受合計通数 1,576通 課税計(10%) ¥151,296 (内消費税等(10%) ¥13,754) 非課税計 ¥0 合計 ¥151,296 お預り金額 ¥152,000 おつり ¥704 印紙税申告納 付につき廻町 税務署承認済 〒100-8792 日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 登録番号 T1010001112577 取扱日時：2024年11月25日 8:54 発行No. 241125A5321 端N73箱13 連絡先：桑名郵便局 TEL:0570-943-601	
領 収 書 等 添付合計金額	151,296 円 (内、政務活動費充当額 151,296 円)

常に現場土土
過去から未来へ

桑名市議会議員 伊藤研司の発言・活動報告総集編

写真で語る私の政策そして明日へ！

自然農法による農福連携

1995年、精神に疾患があるお子さんがいる保護者の方々から、「桑名市で子ども達に通う作業所（現在では支援事業所）を造って欲しい…！」との要望がありましたので、早速…作業所造りに全力を投入しました。

現在では、「自然農法＋農副連携＋喫茶事業」に発展しています。



20 数年前、はあぶ栽培を始めた頃。



20数年前、農園を耕す作業撮影：伊藤研司



NPOが運営する支援事業所の「はあぶ農園」で作業するメンバー・スタッフ



←ミカン山で草刈りする私・伊藤研司
急斜面での草刈り作業は大変です。



↑ 土の表面が剥がれているのは、ミミズをエサにしているイノシシがミカンの木の根っ子にいるミミズを食べに来て荒らした様子です。 撮影：伊藤研司

←

無農薬で栽培したミカン
を数十名のボランティア
の方々で収穫している様
子です。（2021年の秋）

障がいがある方々の入所施設開設

1998（H10）年4月1日、桑名地域で唯一の入所施設が開設される。

私…議員にならせて頂いてから、主に知的障がいがある本人を含む家族の方々と、先進地である、東京の町田市や武蔵野市の施設に見学に行きました。

保護者の方々から、「通所施設も必要だが、入所施設は絶対に必要！」という話がありました。

しかし、入所施設を造るには、社会福祉法人を取得しなくてはならないし、取得するには億以上のお金が必要なので…ムリだと思っていました。

その時、O氏から「桑名市内で障がい者の入所施設を造りたい…等」の話がありました。

市役所職員にその様な話をしていたら、当時の農林水産課のスタッフから紹介があり、地元のY・Iさんが話をまとめて頂きました。そして現在があります。



↑ 総合福祉会館での説明会の様子。
← 本人・保護者の方々への建設中の入所施設の見学会。
撮影:伊藤研司

訪問入浴サービス事業実施

私・伊藤研司は、訪問入浴サービス事業の実施を強く提言し続けました。提言を受け、桑名市で初めて1995年7月から実施されています。



私・伊藤研司は、「訪問入浴サービス」の必要性を提言し続けました。1995年7月に、桑名市で初めて実施されました。最初は、緊張されていたKさんですが、だんだんと「良い気持ち」になって来られたようで、笑顔も見られました。現在は天国におられます。私も天国に行ったら、Kさんにその時・訪問入浴を受けていた時の気分を聞いてみたいです。

(撮影:私・伊藤研司)

「子育てキッズ」の実施

2002年・2004年・2006年と乳幼児・児童への虐待死亡事件が連続して起きたので、私は「子育て難民・乳幼児・児童虐待死亡事件」ゼロを目指すために、まちづくり拠点施設(当時は地区市民センター・公民館)を活用して、地域で親子が触れ合う施策の実施を求めて当局との議論・要求を続けました。

行政・社協の協力もあり、2018（H30）年度から、在良の福祉センターで「夏休み学童保育」が始まりました。



撮影:私・伊藤研司

多度山再生・アカマツ林整備事業



撮影:私・伊藤研司

06年6月24日
中日新聞

桑名は二十三市、市北部の多度山(四〇三)に於て、住民協同で働く保安活用する組織を研究してきてゐることを発表した。市議会は一般質問に水谷会派の答えた。

多度山は、上げ馬神傳で知れる多度大社があるところであり、昔から山の御徳山として親しまれてきた。しかし近年様々

桑名 桑文

桑名市「仕組みづくり研究」

い由にその成書が出てお
この日は被害に遭つ
た木の伐採とともに広葉
樹の植林とを求める廣
間が出た。

市長は、多度山は桑名
を代表する緑の山」とし
て対策を講じた」とし
述べた。

ただ所習が個人や地
域なを擁護になつてゐる
ため、仕組との協働によ
る「多度山保存会」のよ
うな組織とへり、市民
参加を募つて保全活用が
展開してゐないかを考察を進
めるとした。

(嶺田末緒)

私・伊藤研司は「多度山・多度峽
多度神社」一帯を「広葉樹・山桜
お花畑」で再生する事業を提言。

境田末經

間伐作業を行っている私↓



06年12月28日
中日新聞

度山を再生、整備へ

桑名市 ボランティアを養成

桑名市は九日、市北
部にある多度生の整地
に關して森林省ランテ
イを達成し、植樹に開
放すべき地を明らかに
し、樹木を植へるに
着手した。市議會は
樹木を植へるに着手
した。市議會は樹木
を植へるに着手した。

所、眺望スポットとして整備する場所、松林を再生する場所などの構想を作る。
(境田未緒)

そこで、普段の会話でも…本議会でも「多度山の再生」の必要性を訴え続けました。訴え続けると「多度山の再生」の必要性が当局のスタッフから出始め、職員の配置が始まりました。



【写真右】↓多度山再生事業のボランティアで大木となっている「山桜」を治療。 撮影：私・伊藤研司
（愛宕山神社の裏手）

2011.09.24

桑名市民に“生命の水”を供給してくれる『町屋川』



2013.11.04

1994年の夏に雨不足で異常渇水？が心配されました。何か心配事が起こると私が見に行っていた「員弁・町屋川の源流付近」(勝手に私が言っている)。
1994年にも写真の様に水は流れていた事を覚えています。 写真：私・伊藤研司



桑名市民に「命の水」を供給する一つの『町屋川水源地』のポンプ類を入れ替えている現場を見学した時の写真。(2010・2011年) 写真：私・伊藤研司



員弁・町屋川水系には、70種近い魚類を中心とした生き物が生息しています。下流での生息調査の写真。

写真撮影：私・伊藤研司



三重県レッドデータブック2005で絶滅危惧種の最高ランクに指定されている「ウンヌケ」と同じ地域で生息している「モンゴリナラ」の木 (五反田丘陵地)

“450年の歴史ある赤須賀の漁業”と “長良川河口堰問題”



正月を感じる赤須賀の大漁旗。 正月には毎年見に行っています。 撮影・私・伊藤研



マウンド。 浚渫前の長良川(木曽三川公園付近)。 大潮干潮時には、対岸に渡る感覚になりました。



河口堰運用当時、長良川河口堰ゲートを通して漁に向かう漁船。1996年頃。 撮影・伊藤研司



長良川河口堰上流域では、「ヤマトしじみ」は繁殖はしないが成長はするとの言葉を信じて、揖斐川で漁獲した「ヤマトしじみ」を河口堰上流域に放流する漁師。↑

1995年～1998年で566トン放流しました。しかし、漁獲量は1998年以降はゼロになってしまいました。 撮影・伊藤研司



※シラウオ漁から帰って来た漁師。

※2艘の漁船で網を引っ張り漁を行っている。
名四国道の橋から撮る。

撮影・伊藤研司



日の出と共に漁場に出漁する漁船群。 撮影:伊藤研司



漁師の協力を得て、「ヤマトしじみ」を中心とした河床に生息する生き物の調査をする「しじみプロジェクト」のメンバー。



家族・親類の協力を得て、船着き場で「ヤマトしじみ」の選別する漁師。 写真:伊藤研司



愛知県・岐阜県の自然の生態系に関心のある市民の方々10数名が、河口堰による「ヤマトしじみ」への影響について聞きに来られる。



写真→1995年2月9日に当時の建設省が行った調査を私も同行。 写真:伊藤研司
※2022年6月本議会で現在の状況を発言。

命の大切さ！



←私が市議会議員にならせて頂いた最初の頃に、大山田団地の方から要望がありました。それは、「東名阪の上の橋が通学路になっている。その道路(橋)には、落下防止用の柵がない。至急設置して欲しい！」との要望でした。 撮影:伊藤研司

私は、すぐに桑名市の企画課(当時)や公団に出向き、日々…議論を重ねました。すると、思ったより早く柵の設置をして頂きました。



写真上⇒北勢線・馬道駅東の踏切。車の通行も多く、特に…雨降り時には注意が必要。撮影:伊藤研司
 ↑写真下⇒トンネルの通学路。住民の方々によってカメラの設置がされました。 撮影:伊藤研司

↑写真上⇒通学路の安全対策を訴える。撮影:伊藤研司



↑写真上⇒在良学区から明正中学校に自転車通学する生徒の方々が増えたため、通学路を中学校の先生方が安全対策の結果を自転車走って確認。
 写真下⇒トンネルの壁を白く塗って頂く。 撮影:伊藤研司



↑写真上⇒3・11東日本大震災。名取市閑上(ゆりあげ)地区を視察。

↑写真下⇒3・11東日本大震災の被災地。石巻市・名取市を視察。「徒歩で高速道路上に逃げた人たちが助かった」との住民の方々から話を聞きました。桑名市に戻ってからすぐに市長に面会し、長島町を走る東名阪への逃げ道・階段の設置を強く要望しました。長島地区に数力所の階段・避難所が設置されました。 撮影:伊藤研司



←急傾斜地の下を北勢線が走り、数軒の民家もある。自然を残す「ブレスネット工法」での工事。撮影:伊藤研司

大山田川堤防道路 崩壊修繕工事



私は毎朝、陽だまりにあるNPOが運営する支援事業所に行きます。大山田川の堤防道路は、これまでも陥没したことがありますので、いつも注視していました。すると、大山田川の左岸堤の道路面の亀裂が少しずつ大きくなって行くのに気が付きました。道路陥没の危険性を感じましたので、桑名市当局に訴え続けました。車が道路陥没に巻き込まれなくて良かったです。(2015年～2016年) 撮影:伊藤研司



←左の写真は大山田川の堤防道路(人+自転車)の右岸堤です。主に、学生や勤め人の方々が自転車で通られる道路です。

左岸堤防の道路陥没の工事が完成して、しばらくの間は安心して走っていましたが、右岸堤防にも陥没しそうな穴が大きくなって行くのが分かりましたので、桑名市当局に訴えました。

三重県の方でも実態は把握しているとのことでした。土のうで穴を埋める作業から、工事が行われた様です。事故が無くて良かったです。(2017年) 撮影:伊藤研司

遺跡・文化の保全



旧・愛宕山城に放置されていた庚申碑の数々。10年以上当局にまちづくりの為に、展示するように訴え続けていました。 撮影:伊藤研司



桑名市

庚申碑移設費を計上

市議会提案の35議案発表

桑名市は五日、市議会六月定例会に提案する議案を発表した。一億八千五百万円を増額する一般会計補正予算案など三十五議案。赤須賀地区に建設する漁業観光学習交流センター(仮称)の基本設計費、庚申(こうしん)信仰を伝える石碑の修理費などを計上した。(堀田未緒)

愛宕山城跡で見つかり、修繕移転されることになった庚申碑

漁業交流センターは、国交省が揖斐川右岸で進める高潮堤防補強工事に伴って移転する公民館、赤須賀漁業協同組合事務所との複合施設として水門近くに建設する。

桑名の漁業の歴史や漁法を紹介する展示室や調理室を整備。産業観光の拠点として、子どもた

したりできるようにする。二〇〇八年度完成予定。今回は基本設計費として約三百万円を計上した。

庚申碑は、宅地造成に伴う愛宕山城跡の発掘調査で見つかった二十一基のうち状態のいい十二基

走井山に設置された「庚申碑」。前のページ右端の「青面金剛:しょうめんこんどう」を含むこれだけの庚申碑が一堂に展示されているのは、東海地方ではここだけ?!では、と思っています。歴史を学ぶ「まちづくり」の観点からも…桜の時期に…是非、訪れて頂きたいです。↑ 中日新聞 撮影:伊藤研司

桑名城堀に放置された廃船引き上げ



桑名城城壁は、市の文化財に指定されています。余りにも見苦しかったので、廃船の引き上げを訴え続けました。10艘近くの廃船が引き上げられました。撮影:伊藤研司



多度力尾発掘 (2010年2月11日~14日の4日間、発掘調査)

多度・力尾の地層・地質を知ることは、日本列島の生い立ちを知る事にもつながります。多度・力尾の嘉例川火山灰層は、2013年(H25)10月9日、桑名市の天然記念物に指定されました。地質関係の天然記念物は桑名市では初めてです。



大学の先生方とゼミの学生の方々(総勢50名?!)によって行われた発掘調査。↑ 70~100万年?! 以上も前に降り注いだ火山灰層(高さは5メートル以上)。1ミリにも満たないキラキラ光るコガネムシの様な昆虫も。私も参加。 撮影:伊藤研司

朝鮮韓国伝統音楽グループ「ノリパン」によるサムルノリの舞踊と打楽器



↑ 写真左:2012年、桑名市の市民会館(現在は柿安ホール)で実施された時の写真です。撮影:伊藤研司
↑ 写真右:2011年、桑名別院本統寺(愛称:桑名の御坊さん)で実施された時の写真です。撮影:伊藤研司
国際交流の必要性が叫ばれた時代でした。私は当局に「サムルノリの舞踊」を提言し続け、実施されました。

歴史ある鋳物産業でまち興し



写真左・中⇒10数年前に桑名市内の鋳物会社に見学に行った時、写真右⇒鋳物のストーブが避難所で使用すると助かる事を示すために、昨年、地域の避難訓練時に置かれた時の写真です。撮影:伊藤研司
鋳物は「東の川口・西の桑名」と言われ、桑名の鋳物は全国的に有名でした。東京スカイツリーに鋳物の滑車が使用されている事からも、私は「鋳物産業」は未来産業の一つだと思っています。
現在私は、鋳物のストーブは世界に発信できるのではないかと、当局と議論しています。

買い物弱者のための政策



農協にお願いしての事業でしたが、補助金が無くなると大幅な赤字になってしまい、事業は数年間で終わってしまいました。
撮影:伊藤研司

エネルギー消費削減の為に



エネルギー削減の為に、庁内の蛍光灯のカバーを外し本数の減少を提言。撮影:伊藤研司

ビラ剥がし



↑090閏金融のビラ剥がしを始める。一時は、脅された時もありましたが、桑名市の事業となってからは、嫌がらせも無くなった。撮影:連れ合い(妻)

北勢線の乗客アップを願って「お見合い列車」



以前は、「北勢線の乗客アップ+結婚出来る社会」を目指していましたが、数年前からは、『チャレンジしたら這い上がる事が出来る社会⇔結婚+子育てしやすい桑名市』を目指すための議論…さらに、どうしたら敵地攻撃によってではなく、経済・文化・教育政策によって、市民・国民の生命・財産を守る事が可能か！等々の議論をスタッフと行うようになっていきます。

2007年(平成19年)3月16日
中日

北勢線発 幸福行き 夏にも発車オーライ

桑名市といえ、市を結んだ。
ふ三岐鉄道北勢線での「北勢線利用促進のた
夏、恋が芽生えるかもしれないにもお見合い列車を」
れない。十五日の桑名市という伊藤氏の提案に、
お見合い列車 桑名市前向き
議会で、伊藤研司氏(団 望月昌樹産業振興部長は
塊の含の一般質問に、「北勢線のPRにも大変
市が「お見合い列車」の 有意義」と乗り気の答
運行に前向きな姿勢を示 えた。北勢線対策推進協議
を寄せた。(境田未緒)

会の幹事会に提案し、夏
から秋、二に実施できる
よう強く働きかけていく
とした。

コロナ禍(わだかい)によって困窮している 障がい者支援事業所への施策



職員の方と、障がい者支援事業所が
置かれていて現状を話していたら、
後日、地下から一階のフロアでの販売
(障がい者の社会参加の為に)が可
能となりました。
撮影:伊藤研司

市民・環境派として日々活動している私・伊藤研司は、常に『現場主義』です。現場で触れ合い、感じた事を新聞・本で調べて発言しています。最後まで読んで頂いてありがとうございます。



活動報告書の作成・レイアウトは私自身が行い、印刷費は自費です。郵送料は政務活動費を使っています。

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	4
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和7年2月12日		
支 払 年 月 日	令和7年2月12日		
支 払 金 額	151,872 円		
支 払 先	日本郵便株式会社		
使 途 内 容	広報紙郵送代 151,872 円		
備 考			

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☒ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領収書

桑名市議会議員伊藤 様

石研司

[別納引受]
 区内特別基 (定) 36.0g
 @96 1,582通 ¥151,872

小 計 ¥151,872

郵便物引受合計通数 1,582通
 課税計(10%) ¥151,872
 (内消費税等(10%) ¥13,806)
 非課税計 ¥0

合計 ¥151,872
 お預り金額 ¥152,002
 おつり ¥130

印紙税申告納

付につき麴町

税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 登録番号 T1010001112577
 取扱日時: 2025年 2月12日 14:23
 発行No. 250212A9168 端N71箱25
 連絡先: 桑名郵便局
 TEL: 0570-943-601

領 収 書 等
 添付合計金額

151,872円

(内、政務活動費充当額

151,872円)

伊藤研司は
現場主義!!

桑名市議会議員 伊藤研司の活動報告

桑名市学校再編問題

何故…旧・桑名市内において『施設一体型・小中一貫校』に賛成するか…!

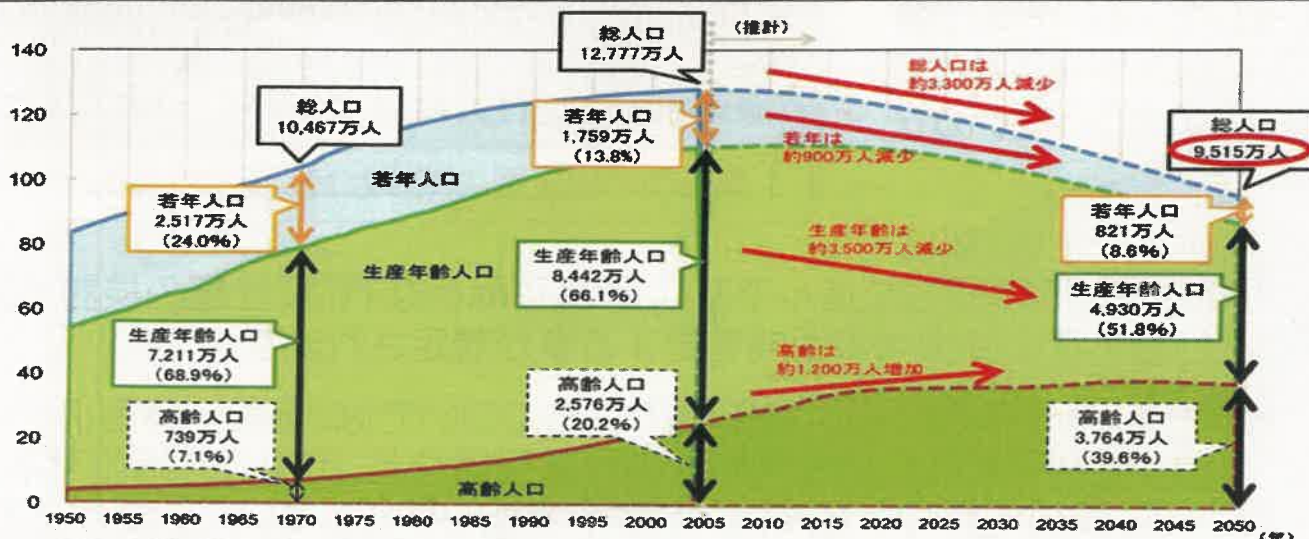
私・伊藤研司は『団塊の世代』です。一例を述べますと…私の世代のテレビ放送では『月光仮面…力道山…等々』 漫画では『赤胴鈴之助…等々』…そして、学校の先生は、地域・学校で『絶対的な指導力…』があった時代でした。

しかし、現在ではどうでしょうか…?! ある一日のNHKのテレビ番組では『美の壺、英雄たちの選択、グレートネイチャー、はるかなる古代文明、日本最強の城、歴史探偵…等々』があり、これらの番組を見ている方々もおられる…と思っています。……(略)……。さらに、『蔦屋重三郎と江戸時代の文化』を勉強している生徒の方もおられるのでは…!と思っています。…(略)…。

私たちの時代は、英語を話せる児童・生徒も少なかったのですが…現在では、英語会話の塾に通っている児童・生徒の方々もおられるようです。……(略)……。また、中学校の歴史の授業と言え、年代の暗記でした。……(略)……。これからの時代は、児童・生徒の方々が主役『たのしい授業…例えば、『仮設実験授業』のような授業』での実践も一例と思います。…(略)…。教科担任制(一人の先生が全ての教科を教えるのでは、余りにも負担が大きすぎます。教師の方々の負担を減らすために!)の必要性を感じています。さらに…SNS…X…ツイッター…の存在もあります。

我が国における総人口の推移 (年齢3区分別)

- 我が国の総人口は、2050年には9,515万人となり、約3,300万人(約25.5%)減少。
- 高齢人口が約1,200万人増加するのに対し、生産年齢人口は約3,500万人、若年人口は約900万人減少。その結果、高齢化率は約20%から約40%に上昇。

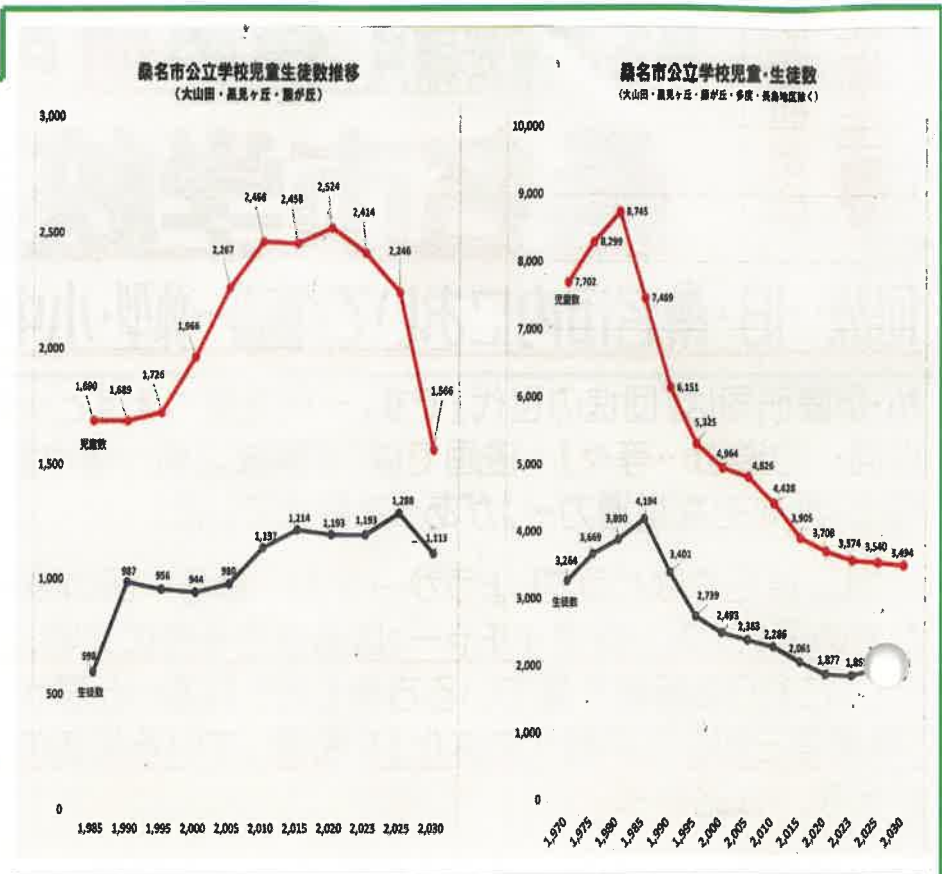


『児童・生徒数の減少…。教育・財政問題』から述べてまいります。↓

《伊藤研司議員・発言の主旨》

これからの時代(財政の立て直し・少子化…等々の課題解決)は、国会議員・官僚の方々ではなく、地方自治体の首長・議員が先進的な行政を担い、それで国を引っ張って行く時代になって来るのでは…と思つての発言です。

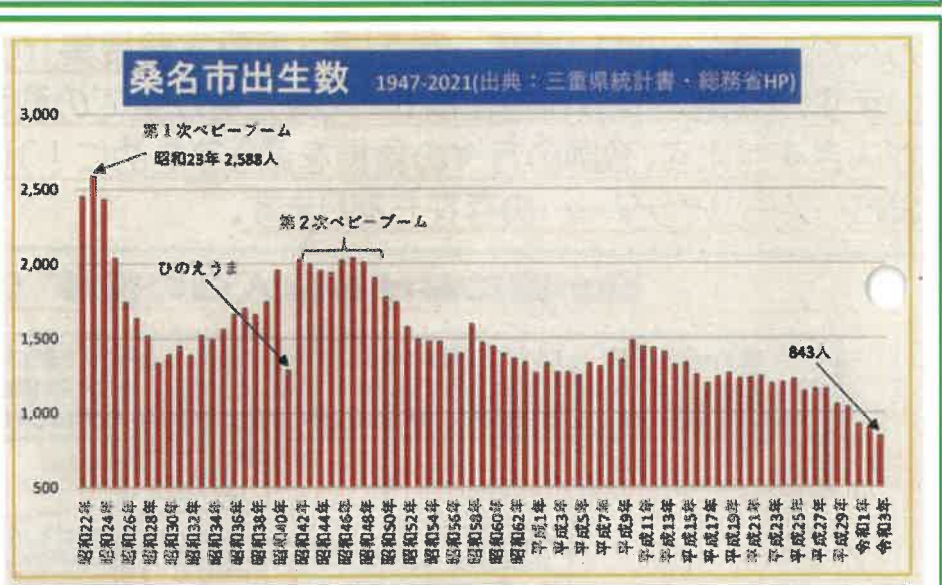
これからの時『施設一体型・小中一貫校』課題を解決する為には『跡地活用』⇒学校が運営されていた時より、地域の方々に喜んで頂ける事が出来るか、によって、財政・少子化を含んだ全国的な課題を解決できるのでは…と思つての発言です。
……………(略)……………。



↑ グラフから、児童・生徒数の減少が分かってきます。

《桑名市長・発言の主旨》

……………(略)……………。 光風中学校を施設一体型・小中一貫校の候補地とする場合、研司議員のお考え通り、市役所本庁舎の敷地を学校建設用地として活用せざるを得なくなり、そして…『この本庁舎をどうするのか…?』という議論に繋がってこないか…
……………(略)……………。



↑ 桑名市の出生数の減少が良く分かります。

この市役所本庁舎は、既に築50年が経過して老朽化が進んでおり、新築移転となれば、仕様の検討や関係機関との合意形成には相当の期間を要する事が想定されます。

……………(略)……………。庁舎の建設場所や整備の手法については、施設一体型の小中一貫校の整備や他の老朽化した公共施設の再編整備など、市の公共施設マネジメントを総合的に進めて行く中で、最適な場所・手法を検討していく必要があると考えています。

今後整備していく施設一体型・小中一貫校につきましては、地域の拠点と位置づけ、様々な機能を集約していきたいという構想を持っていますので、これらの事を考慮すると、市役所本庁舎整備の方向性については、県の庁舎機能との一体化も視野に入れた単独整備、新たな施設一体型・小中一貫校との一体整備、他の公共施設や民間施設への本庁舎機能の分散移転、さらには…これらの手法の組み合わせなど、様々な構想が思いつきます。これらについても、今後の詰めた検討が必要と考えています。

これらの検討・構想を練るにあたりましては、当然のことながら、財政的な裏付けが重要かつ必須の要件となってきますが、先ずは、市役所本庁舎のあり方検討を避けては通れない喫緊の課題と捉え、全庁挙げての検討に着手必要があると考えており、この検討を進める中で、自ずと他の公共施設のあるべき姿も見えてくると考えています。



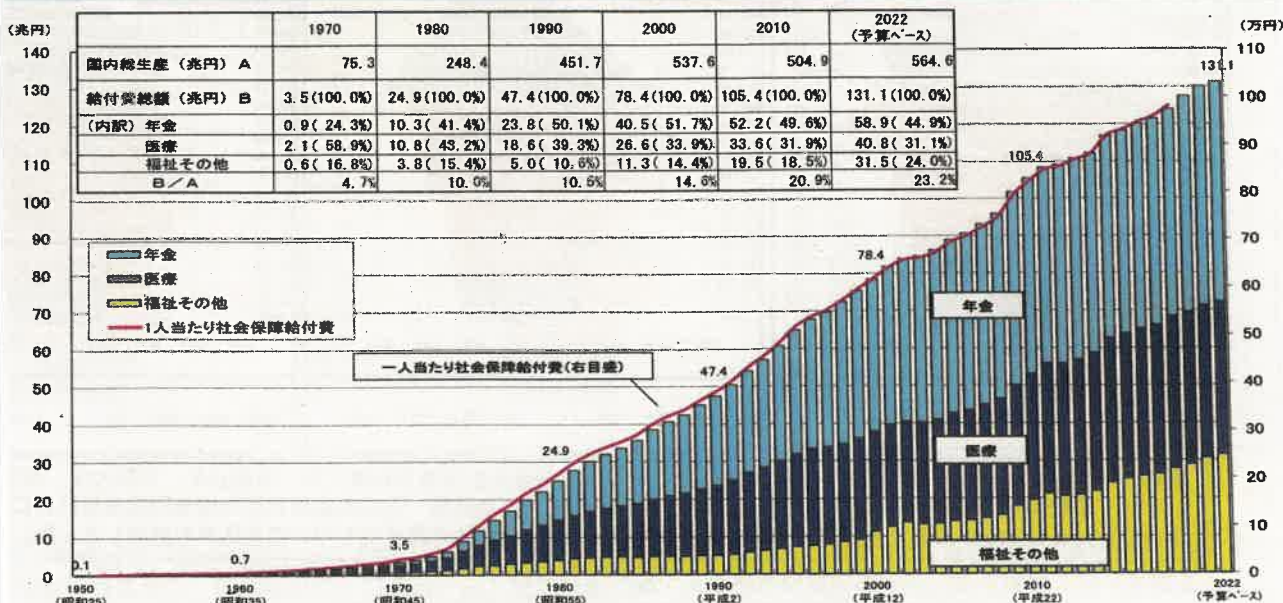
愛知県東郷町の『NPO法人ノーマCafe』を見学。織田えいじ氏からCafeをつくった経緯…等の話を伺いました。

『施設一体型小中一貫校』が出来た跡地活用⇒桑名市でも『多世代交流の場』をつくる時の参考にできたら～！との思いでお話を伺って来ました。

織田氏の「経歴+人間関係」の多さにはビックリ！

写真『まち むら』163号から

社会保障給付費の推移

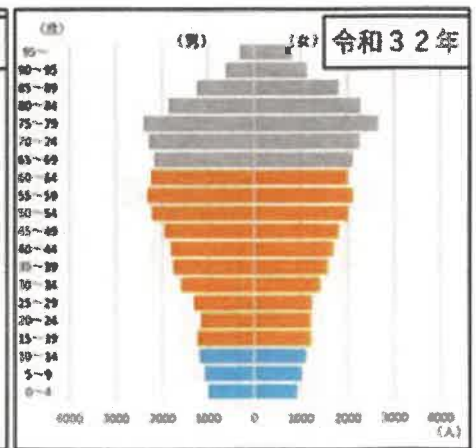
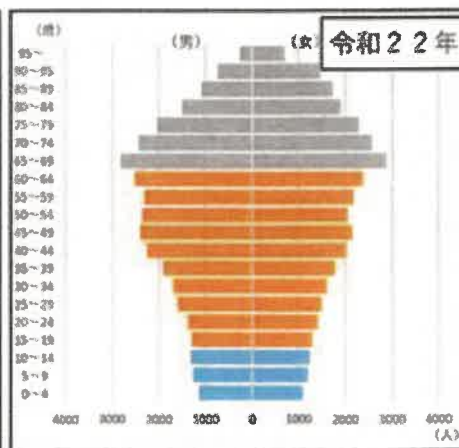
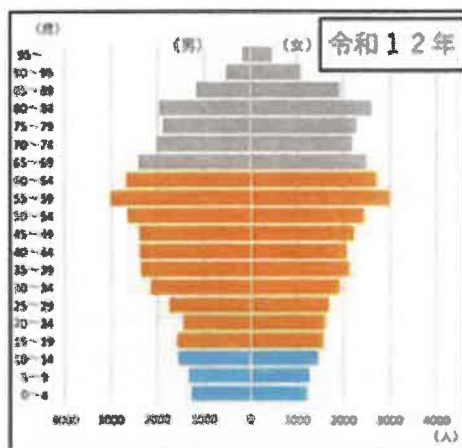
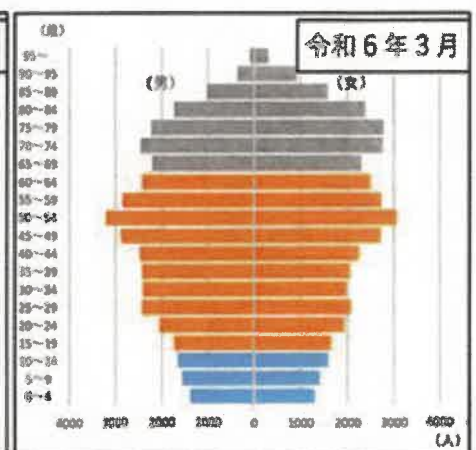
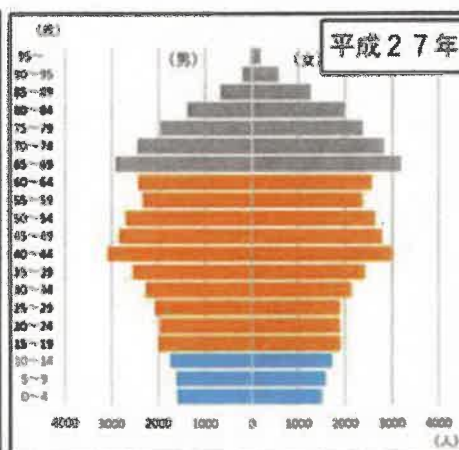
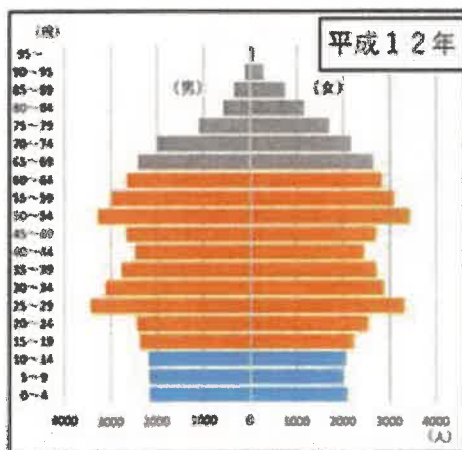
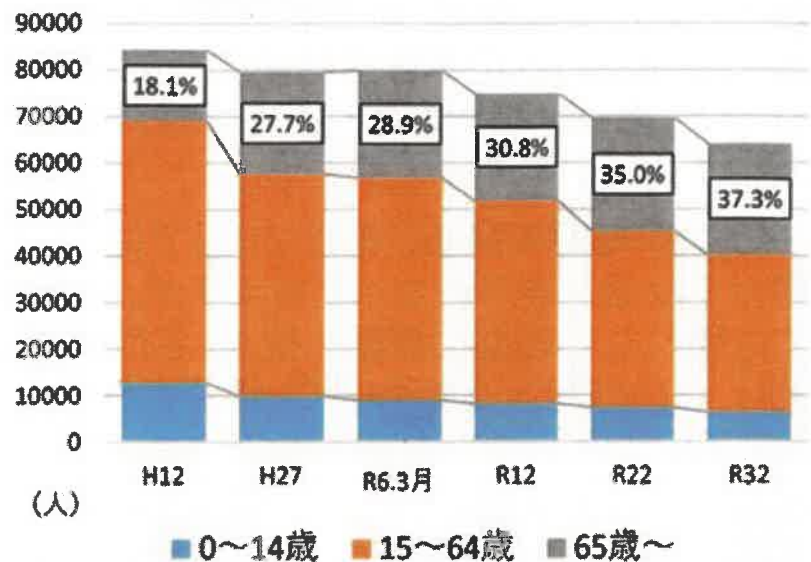
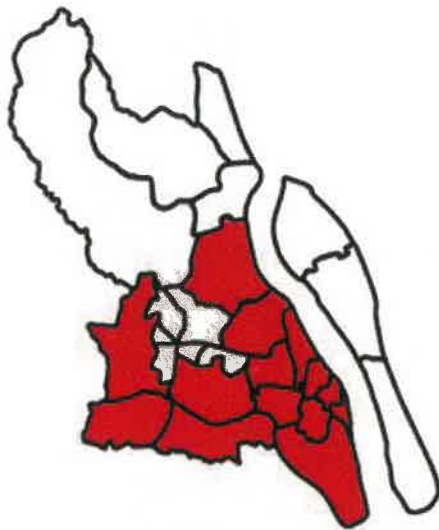


資料：国立社会保障・人口問題研究所「令和元年度社会保障費用統計」、2020～2022年度(予算ベース)は厚生労働省推計。
2022年度の国内総生産は「令和4年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(令和4年1月17日閣議決定)」
(注) 図中の数値は、1950、1960、1970、1980、1990、2000及び2010並びに2022年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

年金・医療・福祉…等の『社会福祉費』は、毎年増額に増額…「団塊の世代」が天国に行くまで増え続けます…？

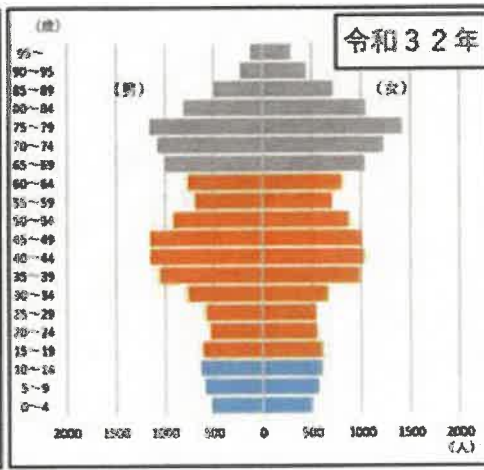
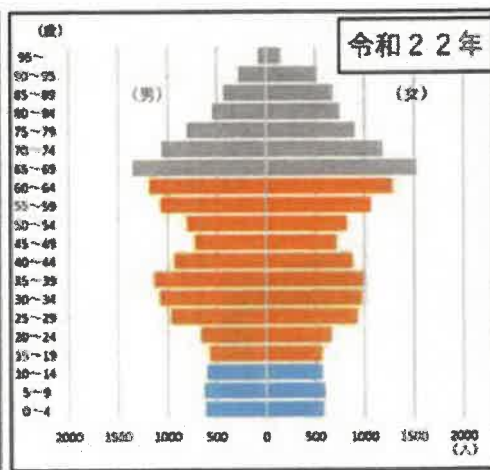
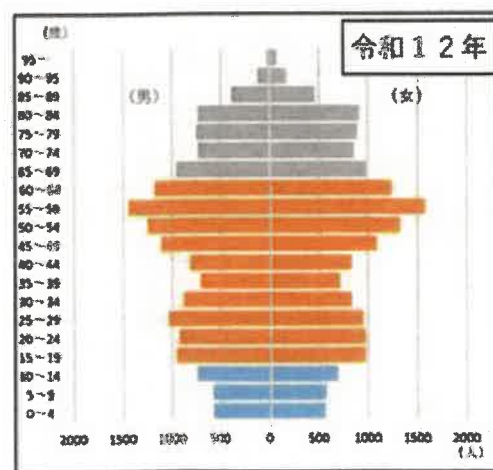
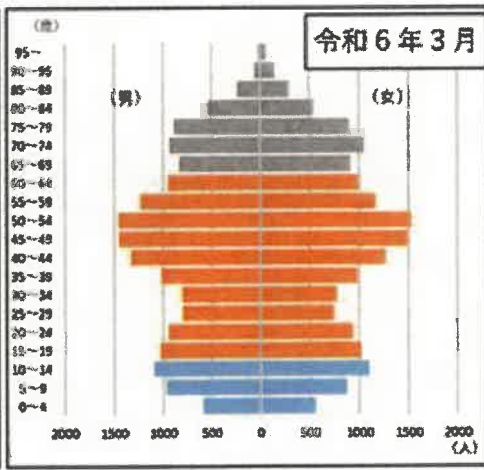
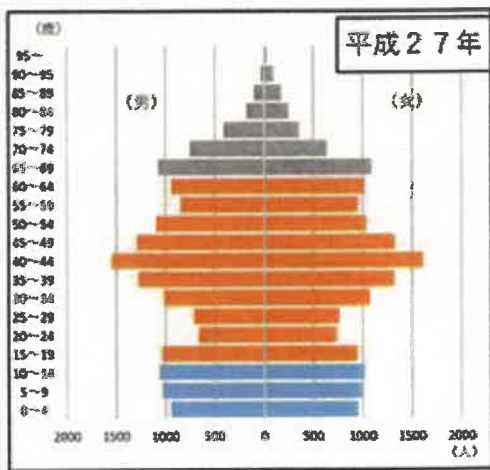
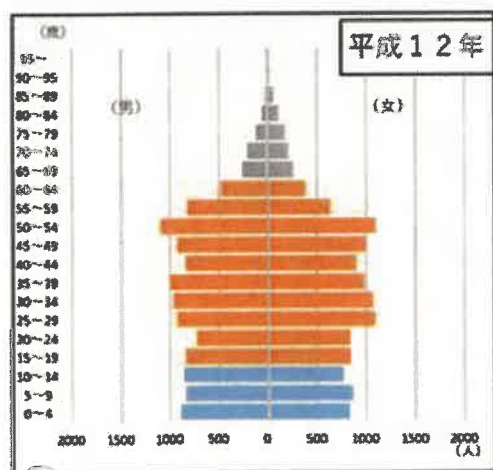
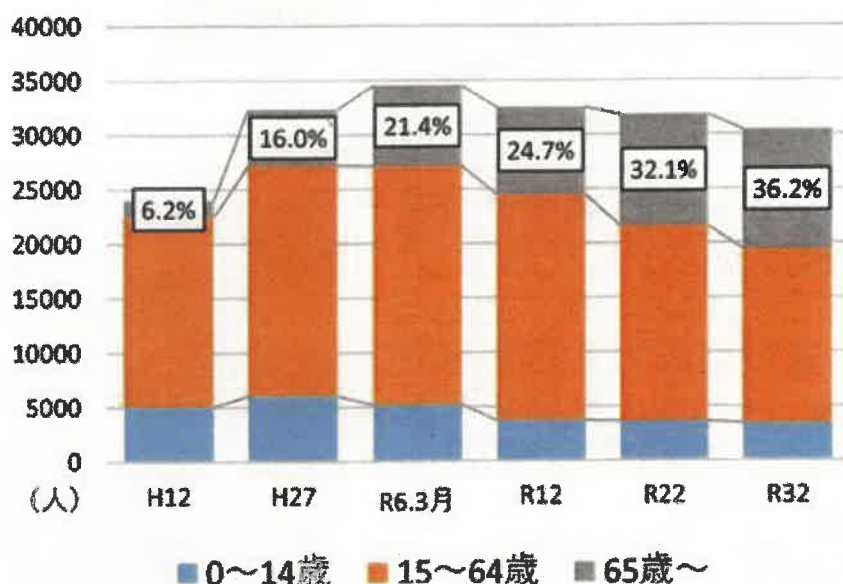
大山田団地以外の人口推移

大山田団地（新西方、星見ヶ丘、筒尾、松ノ木、大山田、野田、藤が丘、陽だまりの丘）、多度町、長島町除く



出典：平成12年、平成27年、国勢調査による人口 令和6年3月は住民基本台帳人口、令和12年、令和22年、令和32年については、令和2年国勢調査の性・年齢階級別人口をもとに、国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口（令和5年推計）において用いられた生存率、純移動率、女性子ども比、0歳~4歳性比を用いて見込みを推計しました。

新西方、星見ヶ丘、筒尾、松ノ木、大山田、野田、藤が丘、陽だまりの丘における人口推移



出典：平成12年、平成27年、国勢調査による人口 令和6年3月は住民基本台帳人口、令和12年、令和22年、令和32年については、令和2年国勢調査の性・年齢階級別人口をもとに、国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口（令和5年推計）において用いられた生残率、純移動率、女性子ども比、0歳~4歳性比を用いて見込みを推計しました。

《伊藤研司議員・発言の主旨》

学校再編を行おうとすれば、桑名市自身が『プロジェクトチーム』をつくり、公共施設の再編計画を進めるべき…！ではないのか…？！

《GX担当理事(脱炭素社会に向けて持続可能な経済成長を目指す)の発言の主旨》

…(略)…議論+作業を行う場として設けるのが、プロジェクトチームです。地域の拠点となる小中一貫校整備の進捗にあわせ、順次、各地域の整備統合を進めたいと考えていますので、小中学校再編計画が策定され次第、検討の対象とする地域を定め、部局横断型のプロジェクトチームを設置致します。……(略)……。



空き教室を活用しての『学童保育』の様子。(在良小学校)

市の中心部での小中一貫校整備、市役所本庁舎の建て替えとなれば、総合的なマネジメントが必要と考えており、その検討にはかなりの期間を要すると思われるので、市の中心エリアについては、優先的にプロジェクトを立ち上げ、検討に着手したいところです。

もちろん…、小中学校再編の進捗次第では、同時並行で複数エリアのプロジェクトを進める事も想定しています。…(略)…。

市役所本庁舎の建て替えにあたりましては、将来を見据えた議会棟の取り扱いについても論点となつてまいるのは…！と思っています。



《伊藤研司議員・発言の主旨》

『施設一体型・小中一貫校』建設に向けてのスケジュールは…？

《教育長・発言の主旨》

現在、令和7年度の小中学校再編計画の策定に向け、市役所を含む光風中学校を起点とした場所をはじめとした施設一体型小中一貫校の整備候補地や新しい学校区割り、再編順序などの検討を進めています。

『施設一体型小中一貫校』にして良かった…！と思えるには、学校の跡地活用問題が重要です！

候補地に含まれる市役所庁舎の取り扱いについては、市長部局と情報共有・連携を図りながら、子ども達により良い教育環境の実現を検討しています。

方向性が決まりましたら、市民・議会の方々に丁寧に説明し、合意形成に努め、施設一体型小中一貫校の開校に向けて進めて行きたいと考えています。

2024年12月14日(土) 中日新聞 ↓

「更新へ本格的に検討」

市議会でも市長 市教委などと議論へ

桑名市役所本庁舎 老朽化

建設から51年がたち老朽化も指摘されている桑名市役所の本庁舎について、伊藤徳宇市長は13日、「更新に向けた検討に本格的に着手しなければならぬ時期にきている」と述べた。小中学校や他の公共施設の再編と合わせ、市教委なども巻き込んで全庁的な議論を始める方針を示した。

(大島康介)

市議会一般質問で伊藤研司議員に答えた。現在の市役所本庁舎は1973年5月に完成し、桑名駅にも近い市街地にある。

伊藤市長は、新たな市役所を整備していく際にはさまざまなアイデアを比較する考えを強調した。伊藤議員が例として挙げた県桑

更新の検討が桑名市役所本庁舎と市中央町で



名庁舎と市役所を一体化させる方法についても「その構想は排除しない。機能を一体化すれば合理的で利便性は高まる」と説明。一方で「現在の県桑名庁舎の敷地を前提にしたものではない」との考えも示した。

た。加えて、学校再編で建設していく小中一貫校と市役所を一体で整備する方法や、市役所の機能を複数の建物に分散移転する方法も伊藤市長は案として示した。現在の市役所は光風中学校と隣り合う場所であり、2025年度中に市教委がまとめる学校再編計画では、光風中も小中一貫校の建設予定地となる可能性がある。

私・伊藤研司は、議員にならせて頂く前、セールズを行っている時から、(人口統計)に関心をもち、県外に勉強に行き、将来の学校のあり方を考えていました。

教師の負担軽減↓教科専門性の必要性、財政問題…最近では、SNS問題…等々、団塊の世代の私たちの時代と学校の位置づけ・あり方…等々、交わって来ています。

市民の方々から『施設一体型小中一貫校』にして良かった…！と、感じて頂ける為には、学校の跡地活用をどのようにして行くのか…？！が課題と考え、『資料+視察』を行ってきました。それぞれの地域の特性・歴史を議論する事から、前向きに進んで行きます。

不登校児童・生徒の増加について

《伊藤研司議員・発言の主旨》

文科省の原本で『桑名市総合教育会議』が出している『不登校児童・生徒の社会的自立を促す支援の在り方』の中味に『桑名市立小中学校における不登校の状況について』で、不登校になった主な原因として

- 1.(本人に係る)⇒生活の乱れ。無気力・不安。
 - 2.(家庭に係る)⇒家庭環境の変化。親子の関わり方。
 - 3.(学校に係る)⇒人間関係(いじめを除く)学業不振。
- 以上の課題が記載されています。

以上を参考に発言します。

私は、団塊の世代の人間です。私自身が、知らなかったただけかも知れませんが…。我々の時代は、「不登校」と言う言葉自体を聞いたことがなかった…と、思っています。

不登校になる理由・原因には、「教師との人間関係があるのでは…?!」とと思っていましたが、上記の資料からは、「教師との関係は余りない…?!」ことにビックリして、教育委員会の方にお聞きしたところ、『無気力・不安…人間関係の中で原因の一つであるのでは…?!』との事で、『複合的な理由になっているのでは…?!』との事でした。

先にも発言しましたが、私の児童・生徒の時代⇒〔障害がある児童・生徒も同じクラスで学んだ時代〕には、殆ど聞かなかった『不登校』問題…何故…現代社会では『不登校』問題が、大きな問題になっているのか…疑問です。

※授業自体を『考え・議論し・楽しい授業』にしようと思えば…私自身、『仮設実験授業』の勉強会に通っていた事もありますし…テレビの歴史番組では⇒NHKの英雄たちの選択・歴史探偵や新し江戸時代(関口宏司会)を参考にしたら…とも思っています。

※最近の児童・生徒の方々の中には、SNS…等々、大人よりも、より専門性を持った方々もおられるようです。

私自身、教師の負担軽減のためにも…教科担任制の必要も感じています。

※私は議会報告のポスティングのため、自転車で街の中を走ります。その時、ベビーカーを押している母親の姿を見る時があります。

気になるのは、ベビーカーに子ども・赤ちゃんを乗している母親が、子どもに話しかけるのではなく、スマホに向かって話している姿を見かける事がある時です。



板倉聖宜氏(いらくまよのぶ)⇒国立教育政策研究所名誉職員。仮設実験授業研究会会長。日本科学史学会会長。科学史・教育学研究者。「たのしい授業:仮設社」創刊。歴史書・科学史・教育学に関する著書多数。

《教育部長・発言の主旨》

A、全国的にも不登校児童・生徒は年々増加し、その傾向は桑名市でも同様で、令和5年度の不登校児童は149名、生徒は235名と過去最多となっている。

B、その要因としては→「生活リズムの不調」「学校生活に対し、やる気がでない」「不安・抑うつ」が上位を占めている。

C、基本的な生活リズムを確立する大切な時期に「コロナ禍」を経験し、生活リズムを崩す児童・生徒。マスク生活で人の表情を取りにくい状況で人との距離を取る事が求められ、うまく人間関係を築くことが出来なかった→ストレスを抱え登校しづらくなった。



私が本のセールスをしていた40年くらい前、四日市市で『絵本・仮設実験の授業書・雑誌ひと』を中心とした子ども達が集える場所(現代のこども食堂・学童保育所的な場所?)をつくりました。しかし、『セールス+子ども達が集える場所』を運営する事はムリがあって、建物を壊している時の写真…。



棒手振り(江戸時代)⇒魚・タバコ・果物・塩・味噌・豆腐…等は、50歳以上・15歳以下・身体障害者が扱って良いとされた。弱者救済措置が江戸中期からあった。

※江戸時代の安永村・大福村・矢田村・能部村・桑部村…等々桑名藩内の村の180前後の村の多くが、年貢率が5～9割。中には大福村のように10割を超える村もあった。もう一度、江戸時代の庶民の様子を勉強してみる事も大切なのでは…！と考える今日この頃です。

D、児童・生徒がそれぞれ抱える家庭の背景や生活環境など社会的な影響。

以上から、登校しづらくなる理由は単一的ではなく、複雑に絡み合い、複合的に重なっている事例もある…と思える。

学校に登校しづらい児童・生徒への支援策は→学校外の居場所として、「教育支援センター」での実施。

学校には行けるけど、教室に入れない児童・生徒への支援策は→「校内教育支援センター」の設置を推進していることで、教室復帰につながるケースも見られている。

今年度からは、校内教育支援センター6校に教育支援スタッフを配置したことにより、同じ担当者と関われる事で児童・生徒の安心感につながっている…との声を聞いています。

児童・生徒の思いを尊重して、多様な視点での対応と、民間団体等との連携も実施して行く予定です。

児童・生徒にとって、授業が学校生活の中心であることから、「考える事が楽しい」「できた」「わかった」と実感できるような魅力ある授業の創造が大切と考え、児童・生徒が主体的に自ら学び、自身の成長が感じられる様な授業・学校行事をはじめとする、教育活動を築いていく事によって、結果…不登校児童・生徒の減少につながるように指導・支援に努めてまいります。

障害者福祉政策

報酬改定等の影響により、A型支援事業所がB型支援事業所に転向している現状を踏まえた市の対応は…？！

《伊藤研司議員・発言の主旨》

『…今春から全国的に閉鎖が相次ぎ、3月～7月に少なくとも4,279人の障害者が解雇された…。国がサービスの対価として事業所に支給する報酬を引き下げた事が要因…。』とあります。

現場の課題を知る者の一人として思う事は、国の責任でもあり、閉鎖に追い込まれは事業所の責任でもあるのでは…？と思っています。

具体的問題はこの場では言えませんが…障害者支援事業所の運営は、企業運営とは違う…と、いう事です。

A型・障害者支援事業所のメンバーの給料は、事業所の売り上げ⇒儲けから、スタッフの給料はメンバーの人数による補助金からなのfです。……。

国会では最低賃金を上げる事で騒いでいますが、官僚・議員の方々は現場にたずさわった事がないためか…最低賃金が上がれば、施設側が支払う「社会保険料」もあがるのです。そうなれば、ギリギリで運営している事業所の運命は……。そうならないためには、補助金の増額問題も同時に議論して頂きたいのです。…。

さらに…例えば、国からは…重度の方々が入所できる『入所施設』の新たな建設・運営費の補助金は出ません。北勢地方では一か所が運営されているだけです。順番待ちの状態です。

入所施設への補助金はお出なくて…グループホームへの補助金はお出せるのか…？？

4施設 B型移行で不安の声

障害者の就労を支援する事業所への報酬を国が4月に改定したことを受け、桑名市では14施設あったA型事業所のうち4施設がB型事業所に移行したか移行する予定となっている。B型事業所は最低賃金が適用されず、障害のある利用者の収入が低くなりかねないため「生活が困難になる」といった相談が市に寄せられている。

13日の市議会定例会の一般質問で市側が明らかにした。障害者と雇用契約を結ぶA型事業所の経営が報酬改定で成り立たなくなり、B型事業所への移行が進んでいる。市の担当者は「市として今のところ直接的な対応ができない状況。」

今後もB型事業所への移行が進むことが予想され、大変危惧している」と述べた。

障害者が利用する就労支援事業所への報酬改定は国の方針で4月に適用された。全国ではA型事業所を解雇される障害者が31

日出	6:54
日入	16:45
月出	16:19
月入	6:42
月齢	13.9
満潮	6:13
干潮	17:09
15日	11:43
旧11月15日	

(鳥羽標準)

7月に4279人になっていることも問題になっている。

(大島康介)

↑伊藤研司の発言への答弁記事 中日新聞2024・12月14日

重度の方…重複障害の方は、グループホームより入所施設の方が、『良い…！』と思うのですが…。

《保健福祉部長・発言の主旨》

障害者総合支援法における就労系障害者福祉サービスには、「就労移行支援」「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」「就労定着支援」の4種類があります。

その内、A型事業所は利用者と雇用契約を締結しますが、B型事業所は雇用契約を結ばないため、労働基準法上の「労働者」に該当せず、最低賃金が適用されません。

今回…研司議員が指摘している障害者支援事業所で起こっている問題は、国が公費に依存した就労支援事業所の経営改善を促すため、今年度実施した『障害福祉サービス等報酬改定』によるもので、この改定により、事業の収益で給料を支払う事が出来ない場合には、報酬が大幅に減額されることとなります。

この改定を受け、収益性が厳しく評価され、報酬や安定的な収入が減少となる事業所は事業の廃止や、A型事業所からB型事業所への移行を余儀なくされています。…(略)…。

桑名市内ではA型事業所14施設の内既に3施設がB型に移行しており、2024年12月末には、新たに一つの施設が移行する事を把握しています。

利用者の方々からも、B型に移行すると生活が困難になるなどの相談を受けていますが、残念ながら桑名市として、直接的な対応が出来ない状況であり、今後も同様の傾向が予想されます事から、大変危惧しています。…(略)…。



『鋳物や鉄工業 安全祈願』2024年11月12日 中日新聞

「鍛冶の神をまつる桑名市の多度大社で8日、鋳物産業や鉄工業の繁栄や安全を祈る神事「鞆(ふいご)祭り」が営まれた。……。多度大社の一目連神社には鍛冶の神「天目一箇命:あめのまひとつのみこと」が祭られ、全国の鉄工関連者の信仰を集めている。

←愛知大学+桑名市の『鋳物いいものプロジェクト』



城東小学校の児童・先生と
赤須賀の漁師の方々。ハマ
グリの稚貝の放流。 →
遠くに見えるのは長島温泉。
私・伊藤研司撮影

2024年5月1日現在 児童数 ↓

全ての学年が1学級の学校 ()は学校別の児童数

精義 (158名) 立教(125名) 城東(52名) 深谷(109名) 大和(99名) 大山田西(83名)
多度東(42名) 多度北(61名) 多度青葉(64名) 多度北部(107名) 伊曽島(133名)

単学級の学年が存在する学校 ()は学校別の児童数

日進(197名) 修徳(285名) 桑部(192名) 久米(226)

全ての学年が複数学級ある学校 ()は学校別の児童数

益世(359名) 大成(473名) 在良(337名) 七和(295名) 城南(351名) 大山田東(757名)
大山田北(482名) 大山田南(304名) 藤が丘(333名) 星見が丘(250名) 多度中(322名)
長島中部(337名)

私、議員になる前の本のセールスを行っていた時には『子ども達の居場所づくり:P9』、『長良川河口堰問題を含む環境問題』で立候補させて頂き、その後、精神・知的に障害がある方の保護者の方々と共に、子ども達が集う事業所(当時は作業所)や施設づくりを保護者の方々と行って来ました。私は常に『現場で実践』し、納得出来ない事を当局と議論してきた『現場主義』の議員です。議員自身が子ども達の権利改善の為に日々関わらず、当局スタッフが『子どもの権利条例』に関わる条例には賛成出来ません。しかし、『都市宣言』なら賛成です。

※伊藤研司の『発言・活動報告』の郵送費は、政務活動費を充当させて頂き、印刷・製本・資料費
封筒代・タックシール…等々は自費で行わせて頂いています。

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	無会派 伊藤 研司	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	5
支 払 項 目	調査研究費		
検 収 年 月 日	令和7年3月5日		
支 払 年 月 日	令和7年3月5日		
支 払 金 額	28,200 円		
支 払 先	桑名市長		
使 途 内 容	令和6年度タブレット端末通信料(年間分) 28,200 円		
備 考	1カ月あたりの通信料3,410円(税込) 3,410円×12カ月×1人=40,920円 ※残額12,720円は支払		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号																																																																						
支出科目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 要請・陳情費																																																																					
桑名市 24-205 登録番号 T5000020242055 納入通知書兼領収書 〒 511-8601 住 所 三重県桑名市中央町2丁目37番地 無会派 伊藤 研司 様 <table><tr><td>年 度</td><td>伝票番号</td><td>予算</td><td>会計</td><td>所属</td></tr><tr><td>6</td><td>0049209 - 001</td><td>0</td><td>1</td><td>30010</td></tr><tr><td>款 項</td><td>目 節</td><td>1</td><td colspan="2">議会費収入</td></tr><tr><td>21</td><td>4 3 細節</td><td>10</td><td colspan="2">タブレット端末使用料</td></tr><tr><td>金額</td><td colspan="5">40,920 円</td></tr><tr><td>内 消費税</td><td>0 円</td><td>消費税</td><td></td><td></td></tr><tr><td>納 期 限</td><td colspan="5">令 和 7 年 3 月 31 日</td></tr><tr><td>所 管 課</td><td colspan="5">議会事務局</td></tr><tr><td>摘 要</td><td colspan="5">令和6年度タブレット端末通信料(年間分)</td></tr><tr><td>発 行 日</td><td colspan="5">令 和 7 年 3 月 1 日</td></tr><tr><td colspan="5">上記金額を納入してください。 桑 名 市 長</td></tr><tr><td colspan="3">上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関</td><td colspan="2">領 収 日 付 印 桑名市 指定金融機関 7.3.5 株式会社百五銀行 桑名支店 (11)</td></tr></table> ※領収日付印のないものは無効です。 (納入者保管) 桑名市 24-205						年 度	伝票番号	予算	会計	所属	6	0049209 - 001	0	1	30010	款 項	目 節	1	議会費収入		21	4 3 細節	10	タブレット端末使用料		金額	40,920 円					内 消費税	0 円	消費税			納 期 限	令 和 7 年 3 月 31 日					所 管 課	議会事務局					摘 要	令和6年度タブレット端末通信料(年間分)					発 行 日	令 和 7 年 3 月 1 日					上記金額を納入してください。 桑 名 市 長					上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関			領 収 日 付 印 桑名市 指定金融機関 7.3.5 株式会社百五銀行 桑名支店 (11)	
年 度	伝票番号	予算	会計	所属																																																																		
6	0049209 - 001	0	1	30010																																																																		
款 項	目 節	1	議会費収入																																																																			
21	4 3 細節	10	タブレット端末使用料																																																																			
金額	40,920 円																																																																					
内 消費税	0 円	消費税																																																																				
納 期 限	令 和 7 年 3 月 31 日																																																																					
所 管 課	議会事務局																																																																					
摘 要	令和6年度タブレット端末通信料(年間分)																																																																					
発 行 日	令 和 7 年 3 月 1 日																																																																					
上記金額を納入してください。 桑 名 市 長																																																																						
上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関			領 収 日 付 印 桑名市 指定金融機関 7.3.5 株式会社百五銀行 桑名支店 (11)																																																																			
領 収 書 等 添付合計金額	40,920 円 (内、政務活動費充当額 28,200 円)																																																																					